

資料編

目次

「広報紙に関するアンケート」集計結果	1
「広報紙に関するアンケート」年齢別集計結果	12
「市の情報発信に関するアンケート」集計結果	20
「市の情報発信に関するアンケート」年齢別集計結果	35
「市の情報発信に関するアンケート」クロス集計結果	46

「広報紙に関するアンケート」集計結果

アンケート概要

■ 目的

広報紙の効果測定を行い今後の指標とするとともに、今後の広報紙編集において市民のニーズを把握するもの

■ 実施期間

令和4年8月8日（月）から8月21日（日）まで

■ モニター数

230人

■ 回答者数

104人

■ 回答率

45.2%

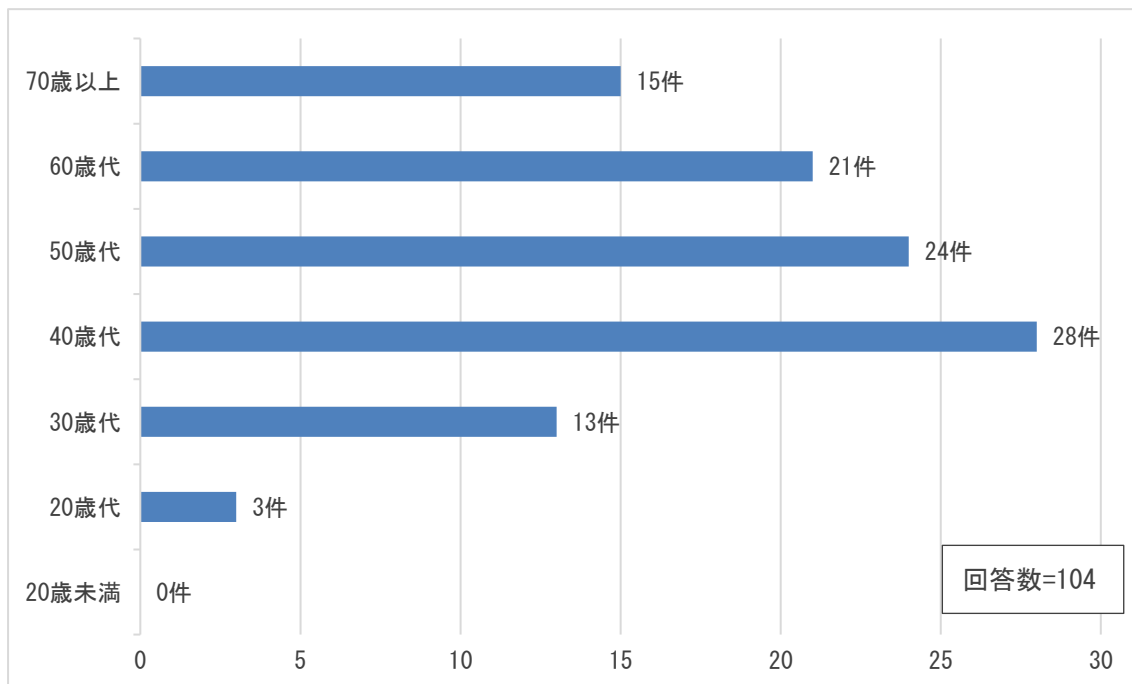
■ 備考

本アンケートの主旨に関係のない記述は掲載していません。

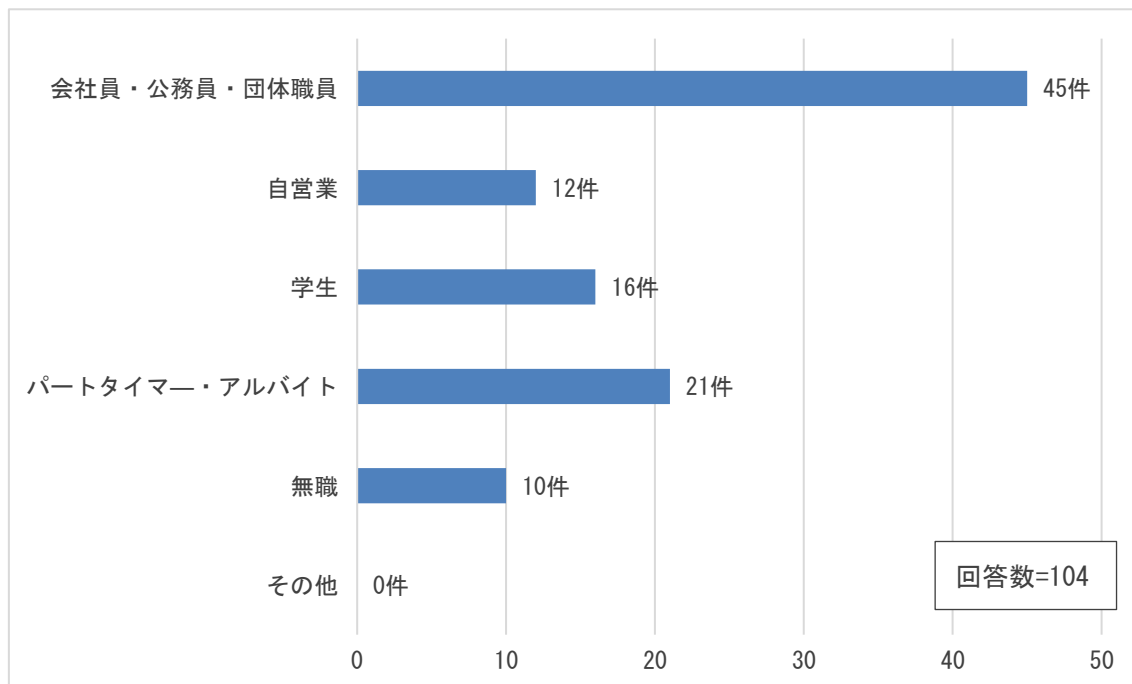
自由記述は、意見を要約して掲載します。

回答者の属性

Q1 年齢を教えてください

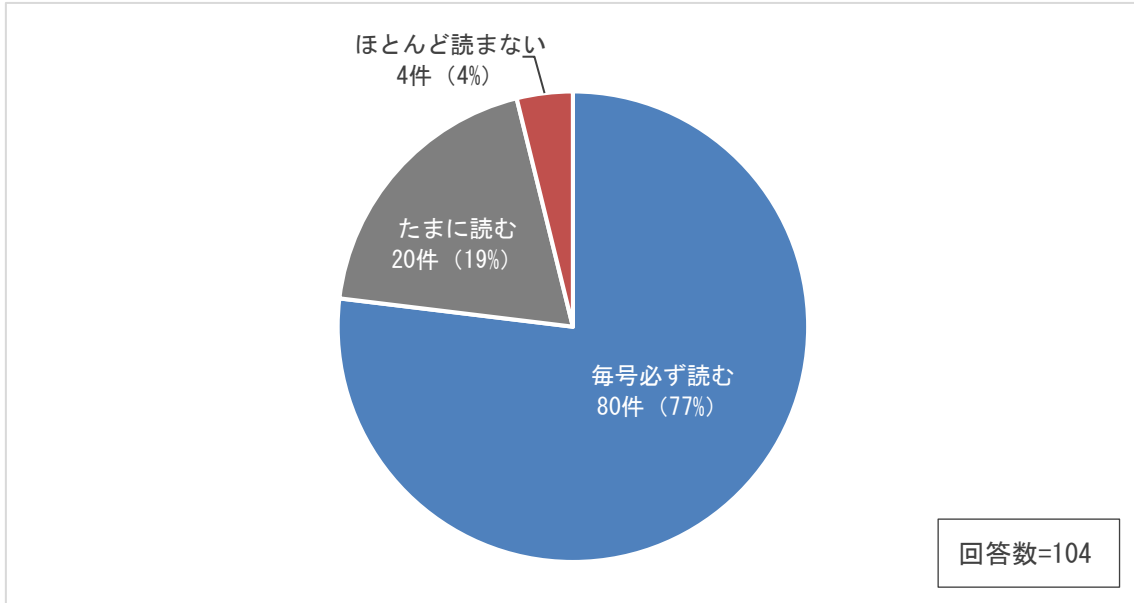


Q2 職業を教えてください



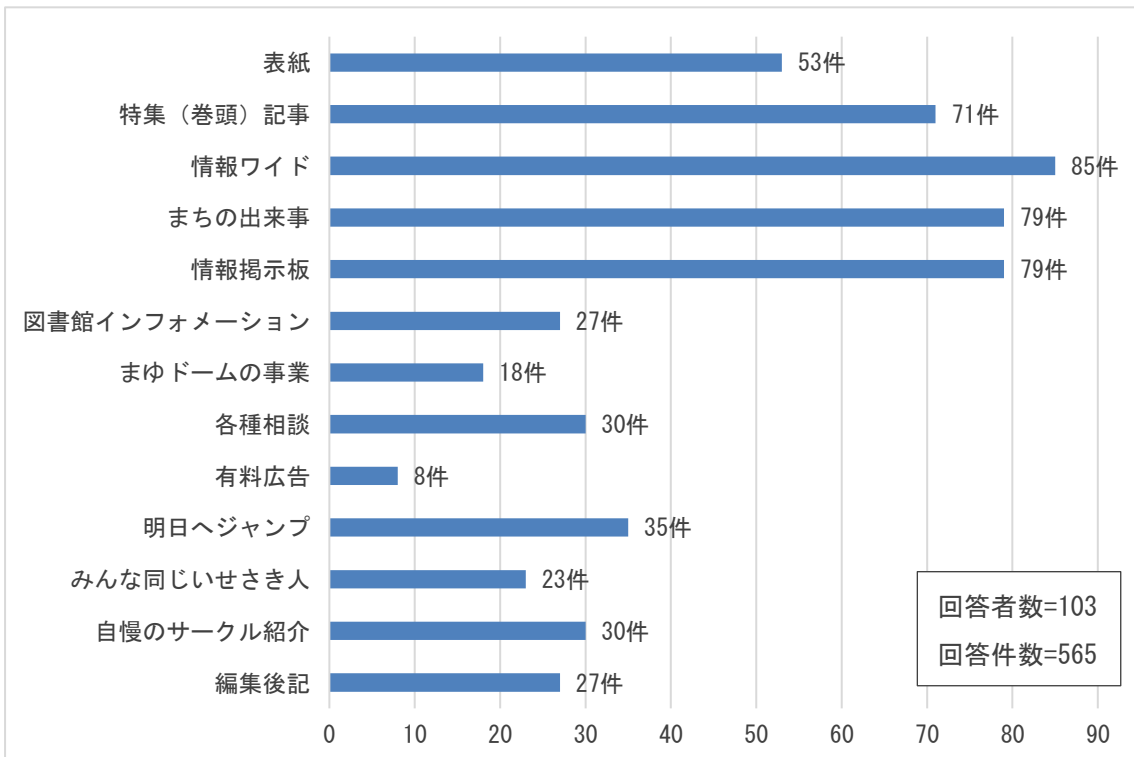
広報紙について

Q1 「広報いせさき」を普段どれくらい読みますか



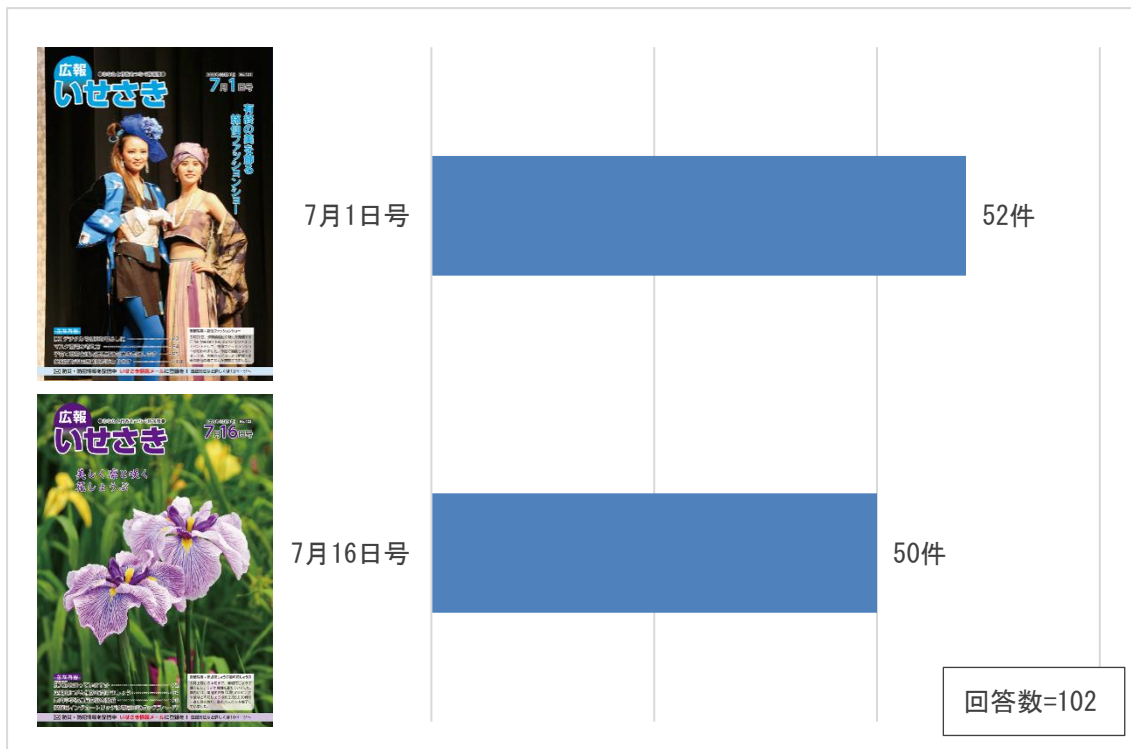
○広報いせさきを「毎号必ず読む」と答えたのは回答者の77%だった。
一方で4%の回答者は「ほとんど読まない」と答えた。

Q2 「広報いせさき」の必ず読むページはどこですか（複数選択可）



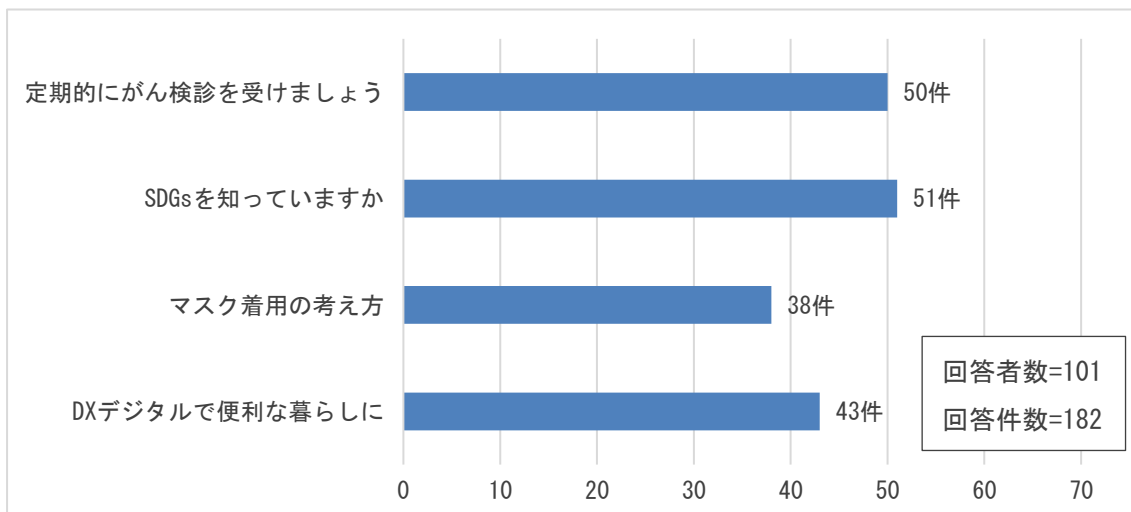
○「情報ワイド」が85件と最も回答が多く、次いで「まちの出来事」「情報掲示板」が79件となった。いずれも回答者の75%以上が必ず読むと答えた。

Q3 7月1号・7月16号のどちらの表紙が良かったですか



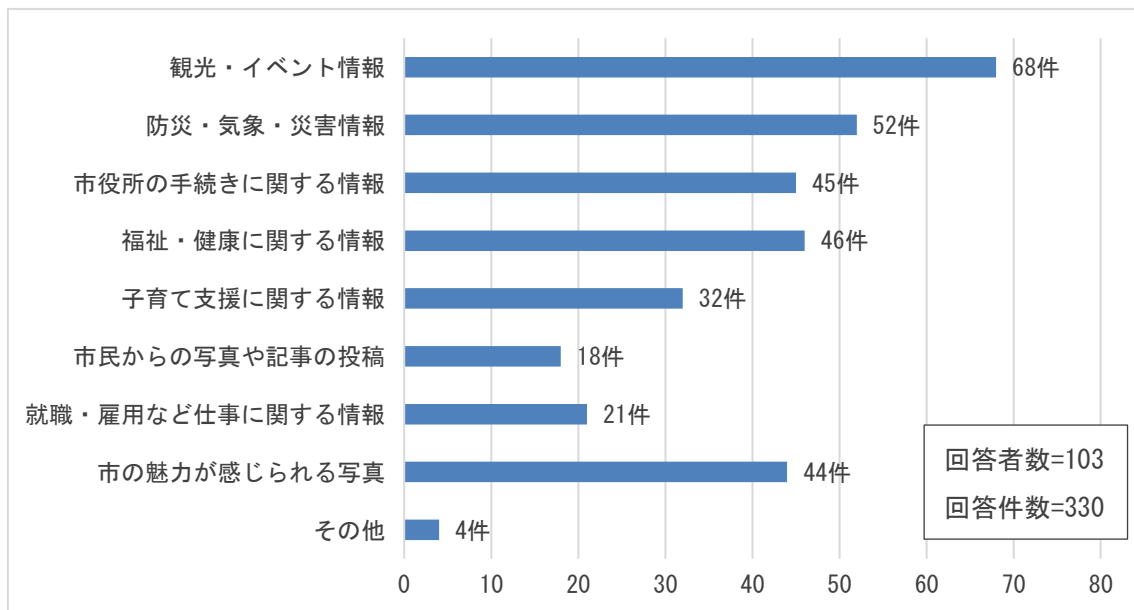
○「7月1号：銘仙ファッションショー」が52件で51%の回答に対し、「7月16日号：赤堀花しょうぶ園」は50件で49%の回答となった。

Q4 7月1号・7月16日号で良かった特集を教えてください（複数選択可）



○「SDGsを知っていますか」が51件と最も回答が多く、次いで「定期的ながん検診を受けましょう」が50件となった。いずれも回答者の半数が良かった特集として回答した。

Q5 「広報いせさき」で充実してほしい内容がありますか（複数選択可）



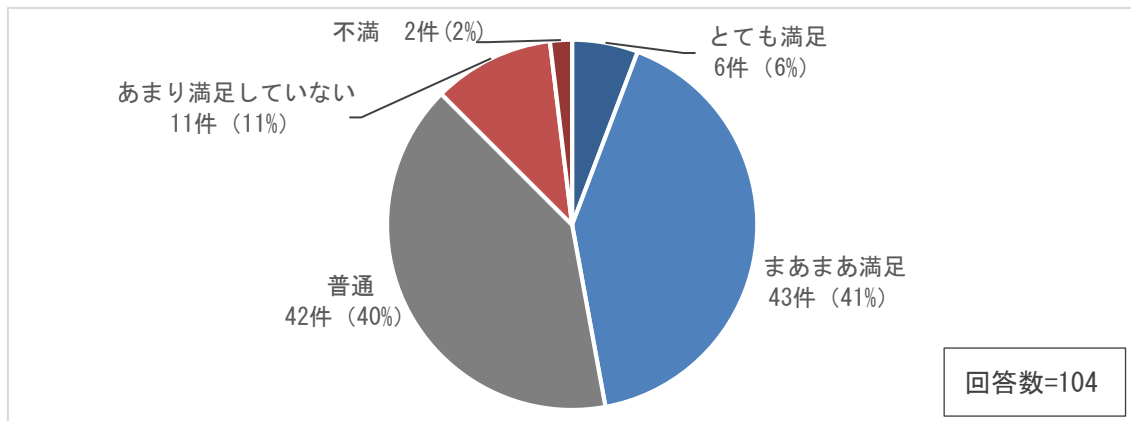
○充実してほしい内容として「観光・イベント情報」が68件と最も回答が多く、次いで「防災・気象・災害情報」が52件、「福祉・健康に関する情報」が46件となった。

その他（4件）

ボランティア情報
交通弱者への対策
公民問わず市内の新たな施設や店舗の情報 例) レストランやスーパーなど、新規オープンのお店の情報。 どの地域にどんなお店ができるのか、市と市民で共有できると良い。
市民として誇らしい、自慢のできる事柄、人物、団体、業績、建物、景観、名物などを クローズアップし紹介してほしい。

Q6 「広報いせさき」について

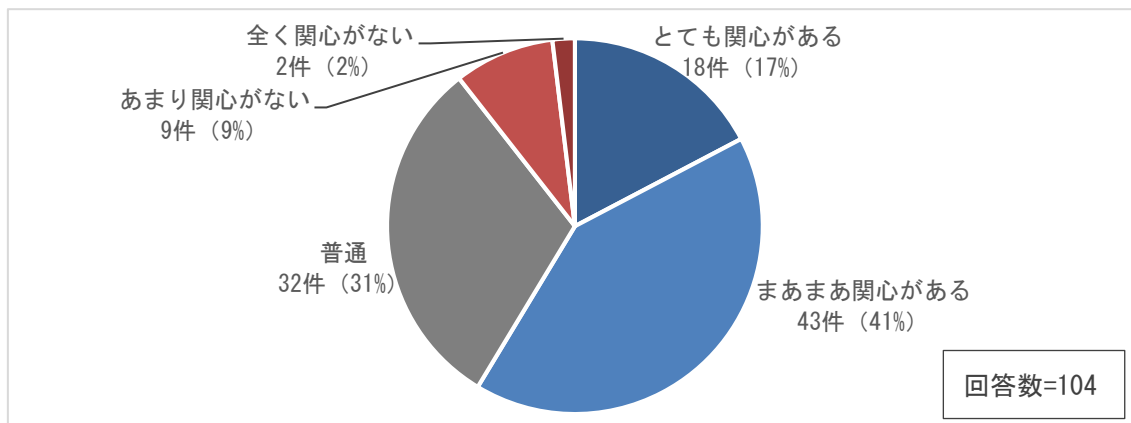
(1) 全体の満足度



○47%の回答者が「とても満足」「まあまあ満足」と回答した。

一方で13%の回答者は「あまり満足していない」「不満」と回答した。

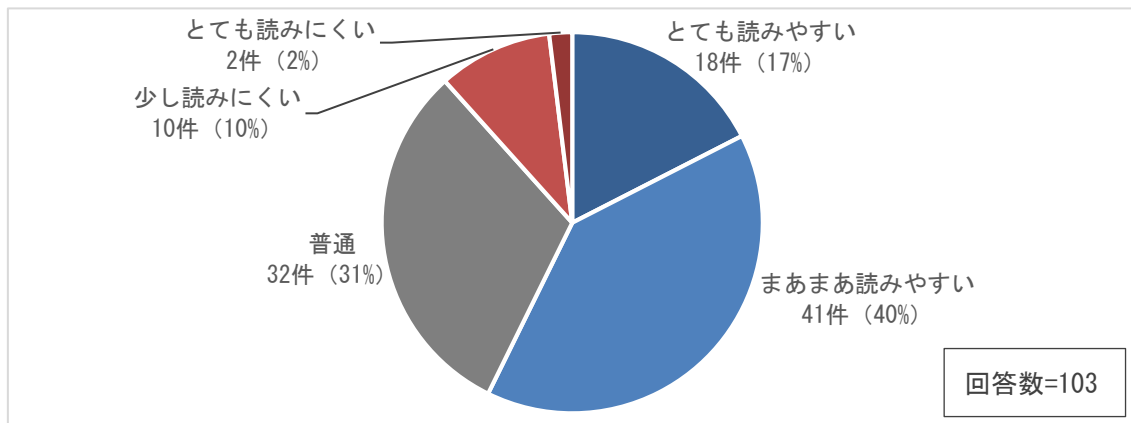
(2) 掲載内容への興味や関心



○61%の回答者が「とても関心がある」「まあまあ関心がある」と回答した。

一方で11%の回答者が「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答した。

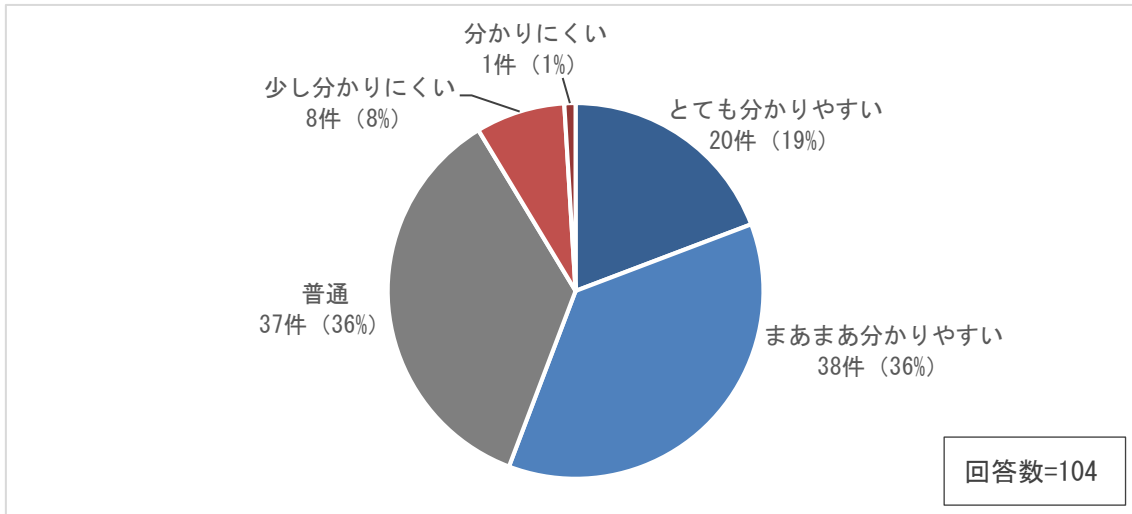
(3) レイアウトや文字の大きさなどの読みやすさ



○57%の回答者が「とても読みやすい」「まあまあ読みやすい」と回答した。

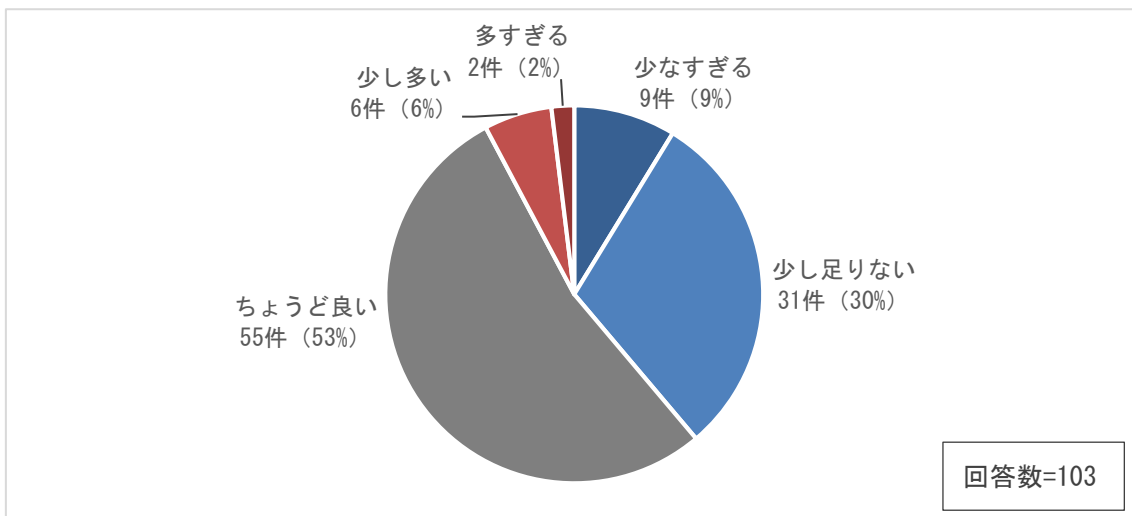
一方で12%の回答者が「少し読みにくい」「とても読みにくい」と回答した。

(4) 文章の分かりやすさ



○55%の回答者が「とても分かりやすい」「まあまあ分かりやすい」と回答した。
一方で9%の回答者が「少し分かりにくい」「分かりにくい」と回答した。

(5) 情報量



○50%以上の回答者が「ちょうど良い」と回答した。
一方で39%の回答者は情報量が少ないと回答し、8%の回答者は多いと答えた。

Q7 「広報いせさき」への要望があれば教えてください（自由記述）

回答（53人）

【記事の内容に関すること】

回覧の順番によっては、申し込みの期日まで日数が少ないことや過ぎてしまうこともあるので、早めに情報を載せてほしい。
情報量が多い。情報掲示板の中のお知らせ、募集、相談、催し、手話をやってみよう、感染症対策をお願いします、など全て同じページに入っているため、整理したほうが良い。
他市町村と比べると情報が少ない。
大事な情報以外は、QRコードやネットに載せて印刷枚数を少なくする。県の電子申請システムのように、もっとデジタルに移行しても良い。
税金（国保税の締切が載る時など）について掲載するときに、「こういう方は納入の必要はありません」「天引きされています」など注意書きをしてほしい。心配性の高齢者は滞納しているのではないかと不安に思うことがある。
国や県が決めたことをただ伝えるのではなく、伊勢崎市として咀嚼した上で、今どうすれば市民のためになるのか、独自の視点で伝えてほしい。
他市区町村の広報の良い部分を取り入れると良い。
PDFファイルについて、ページごとにスクロールされると読みやすい。
近場の情報がなかなか入ってこないのので、広報紙になるべく多くの情報を載せてほしい。
公民館等で行われる講座の募集について、電話ではなくメールで受付できるようにしてほしい。「何月何日より電話にて受付」だと日付を忘れて申し込みを忘れてしまう。
記事の内容に飽きるのので、変化が必要。市民の楽しめる催し物もワンパターンな気がする。老若男女が興味を持つ記事が必要だと思う。特に若者が興味を持つ記事で、伊勢崎市を好きになる内容が良い。明日へジャンプは中高校生が記事を見て、この学校へ進学したいとか、他の高校はこんなことしてるんだとか興味が湧いてとても良いと思う。
市民の頑張っている姿を見ることができて勉強になる。若い方の活動や、外国籍の方の活動は刺激になる。

【デザインに関すること】

表紙はカラーで見やすいが、中の写真もカラーだと興味が湧く。 重要な情報は太字にするなどし、インパクトを与えると良い。
文字だけの情報が多い。市の狙いと記事がリンクしていないかなと思う。 なにを広報したいのか伝わってこない。
青い文字を使うとインパクトがないと思う。若い世代の方が見ているとしたら、レイアウト等は物足りない。若い世代が広報を見てそれをSNSで発信したい！と思えるような情報紙になれば市の活性化に繋がると思う。

最近、以前より見やすくなった気がする。現状のまま継続してほしい。
縦書きが読みにくい。全体的に堅苦しい。単調に書いてあるので、大事な文章が頭に残らない。民間の広告代理店にアウトソーシングした方が良い。
写真をもう少し多く掲載してほしい。 公民館のサークル紹介も興味があるので掲載してほしい。
表紙はスポーツなどの写真も採用してほしい。
いつも変わらないレイアウトや内容に安心感がある。ぜひこのままでいてほしい。

【企画の提案】

伊勢崎駅に駅ピアノが常設されたので、駅ピアノ特集をしてほしい。
各町内のことを多く掲載してほしい。 加えて、各町内のゴミの出し方や困っていることを掲載してほしい。
住民からの意見を集うコーナー。例) ボランティア募集、ペットの譲渡案内
小さなお子さんがいる家も楽しめる漫画 (Twitter で人気の伊勢崎出身の漫画家) や、お年寄りから小さい子まで楽しめるクイズ。
市役所で行っている活動を載せる。 市内のお店を後押しする活動として、コロナ対策認定店がどういうお店で、どういう対策をしているのか良い対策事例として紹介する。
情報掲示板に市の情報だけでなく、民間で行われるお出かけ情報を載せてほしい。
市民からの改善事項や受付傾向の情報。
高齢者単独世帯の身近な問題や今後の取り組みをわかりやすく取り上げてほしい。 例1) 「広報いせさき」は町内の自治会組織の輪番制組長より家庭配布されているが、高齢化世帯員のみで自治会組織の輪番制組長ができなくなり、自治会組織を脱退した場合の「広報いせさき」の受け取り方。 例2) 高齢者のみの世帯でゴミをゴミ収集ステーションまで運べない場合の対応。
市民として誇らしい、自慢のできる事柄、人物、団体、業績、建物、景観、名物などをクローズアップし紹介してほしい。
子育てが楽しくなるようなイベントの掲載。 臂市長の様々な思いや人柄 (エピソード等) の掲載。
地域で活動している団体や個人の紹介。
別冊子で配布されている市議会の内容をかいつまんで掲載してほしい。市議会冊子は読まないけど広報いせさきなら読むという人が多いので、市政に興味を持つきっかけになる。
精神的な面で体調を崩されている方や家族向けに市内のメンタルクリニックや精神科医のコメントを掲載する。 活躍中の議員さんのコメント等を掲載し選挙に興味を持ってもらえるようにする。
曜日や時間帯ごとの窓口の混雑度。
子育て支援をしている飲食店など魅力的な場所の情報。

<p>高齢者への市の仕事の求人。 Facebook に載っている「I LOVE 伊勢崎」と連携した情報まとめ。 例) 楽市夜市、音楽の一日の予定通知 市の空き家対策の計画と方向性の周知。 伊勢崎駅周辺の整備計画と実施状況。 コロナに罹った時の対応手順。(救急車を呼ぶタイミング、検査はどこへ行くか、家庭で罹った時の対策、食品備蓄等目安、市の支援内容等) 各種補助金対象と金額、申請時期。</p>
<p>地区別の情報。市内の新たにできる店舗や施設の情報。市民が市内の施設に興味をもてるような情報誌にしてほしい。新たにオープンする施設やお店、市内に設立した法人、企業は、伊勢崎市の新たな住民。「はじめまして」ということで、掲載しても良いのではないかと。市がどのように変化していくのか、市民みんなで情報を共有したい。</p>
<p>新しく会社・お店をはじめました、実家を継ぎます等、新規者や後継者の紹介を取り上げて盛り上げてほしい。</p>

【配布・発行に関すること】

<p>紙の広報も見やすいが、ネットでの検索も可能にしてほしい。</p>
<p>広報に関わるコストが気になる。自治会からの配布に加え、公共施設にも置いてあるので、印刷費用や維持管理費用はどのくらいかかっているのか。読まなければ廃棄になるので、SDGs の観点からも月一や隔月とかで良いと思う。 コストダウンを積み重ねることで、もっと他の事業に充てられると思う。</p>
<p>遅れることもたびたびあるため、配布は郵送にしてほしい。</p>
<p>他市町村では広報を個別配布ではなく新聞の折り込みに入れたり、必要な人は公民館や市役所でいつでも見られたりするところがある。組長が月に二回も各家庭に配る手間は大変。紙資源の無駄遣いに感じる。市民の税金の使い方を考えた方が良く強く思う。</p>
<p>あまり関心がなく、来るから見るという感じ。 月一回の発行に加え、四季号(年四回)の計16回の発行を提案。 個人的には、イベント情報だけメールで送ってもらえれば十分。</p>
<p>発行された情報をプッシュ通知し紙媒体は希望配布にする。浮いた経費で内容の充実を図った方が良い。</p>
<p>広報発行は月二回ではなく月一回で十分だと思う。広報の管理が大変。</p>
<p>児童センターなどのチラシも一緒に挟んでほしい。</p>
<p>月一回で十分。二回の必要性を感じない。 コロナ禍の現在、広報に限らず回覧板を廃止してほしい。 広報等紙での配布が必要であれば、行政区を通さず、業者に頼ることを考えてほしい。</p>
<p>市内版は月に一度でもう一回を各支部編成はどうか。</p>
<p>隣組の班長による配布だと、人により半月遅れて配布されることがある。事後報告のようで残念。</p>

<p>月に一回で良いと思う。</p> <p>地区の班長が個別訪問して配っており、高齢化もあるのでこの負担を減らす観点からも月に一回で良い。更に言えば、回覧板で済むのであれば緊急時以外は配布の必要はないかもしれない。個人的には、市の情報メールで十分で、必要があればホームページで確認できる。紙媒体にこだわる必要はないと思う。</p>
<p>月二回配布を月一回にしてほしい。</p> <p>手続き等期限があるものは早めに掲載してほしい。</p> <p>ネットにアップすることで経費の削減になりゴミの削減にも繋がる。</p> <p>広報とは直接関係ないが、オートレースのチラシは回覧を検討してほしい。関心ある人は極めて少なく捨てることになるのでゴミを増やしている。</p>
<p>時々来なかったり遅れたりするので、配布方法の検討を。年寄りには楽しみにしている。</p>
<p>あの程度の情報で月に二回はやめてほしい。一回で十分。経費を削減してほしい。</p>
<p>ペーパーレス化を希望する。</p>

【その他】

<p>WEBで公開されていることを知らなかった。市の公式 Twitter アカウントにリンクを貼ればもっと多くの方へ情報が届くのではないかな。</p>
<p>外国籍の方向けにアプリで読めるようにする。</p>
<p>伊勢崎市の魅力をもっと発信するべき。</p>
<p>伊勢崎の魅力を徹底的に探す。文化、歴史、環境など数多くあり、それをいろいろなツールを利用して発信する。住みやすい街であり、安全安心して生活できる街であることをPRする「広報いせさき」がさらに進化充実していくことを期待する。</p>
<p>自分が生まれ育った街なので、なんとか魅力ある街にしていきたい。住むことに魅力ある街、訪れて魅力のある街。例えば東国文化、古墳、特色である織物の体験やスクールとか気軽に触れたりできると活性化に繋がると思う。</p>

「広報紙に関するアンケート」

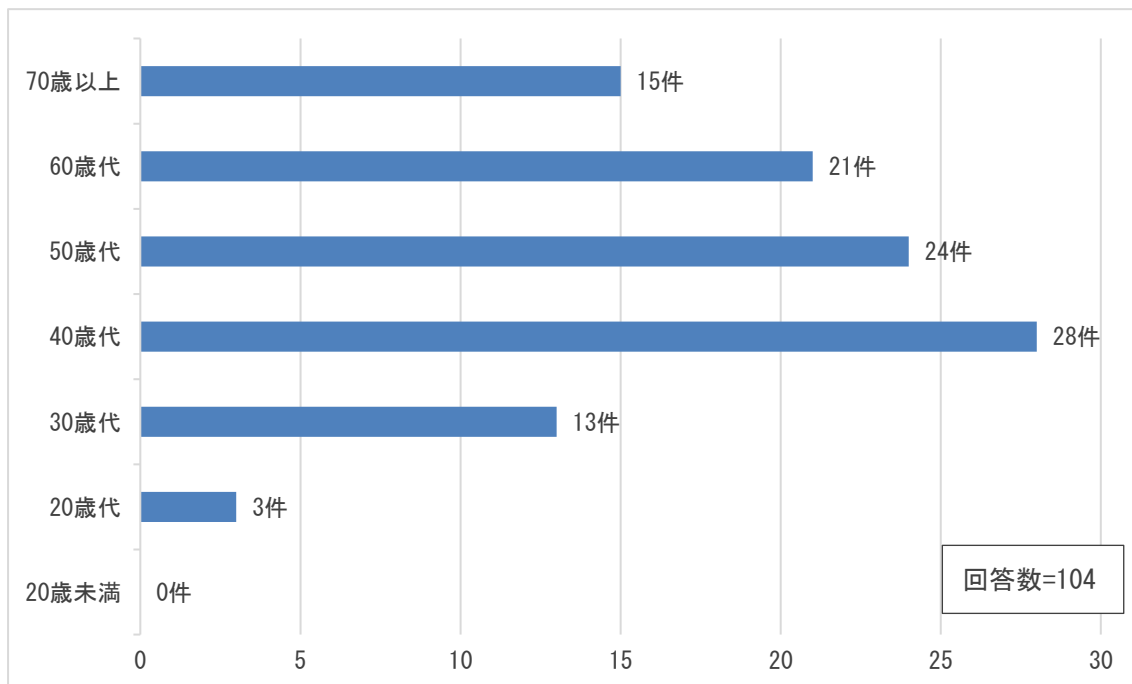
年齢別集計結果

アンケート概要

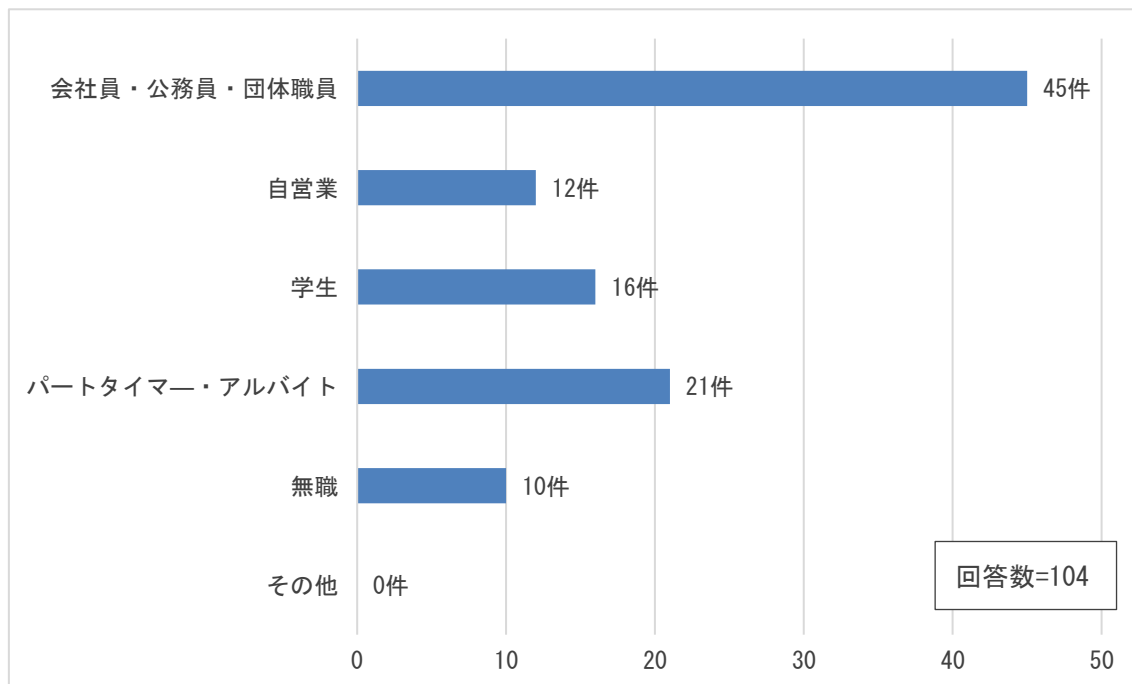
- 目的
広報紙の効果測定を行い今後の指標とするとともに、今後の広報紙編集において市民のニーズを把握するもの
- 実施期間
令和4年8月8日（月）から8月21日（日）まで
- モニター数
230人
- 回答者数
104人
- 回答率
45.2%
- 備考
本アンケートの主旨に関係のない記述は掲載していません。
自由記述は、意見を要約して掲載します。

回答者の属性

Q1 年齢を教えてください



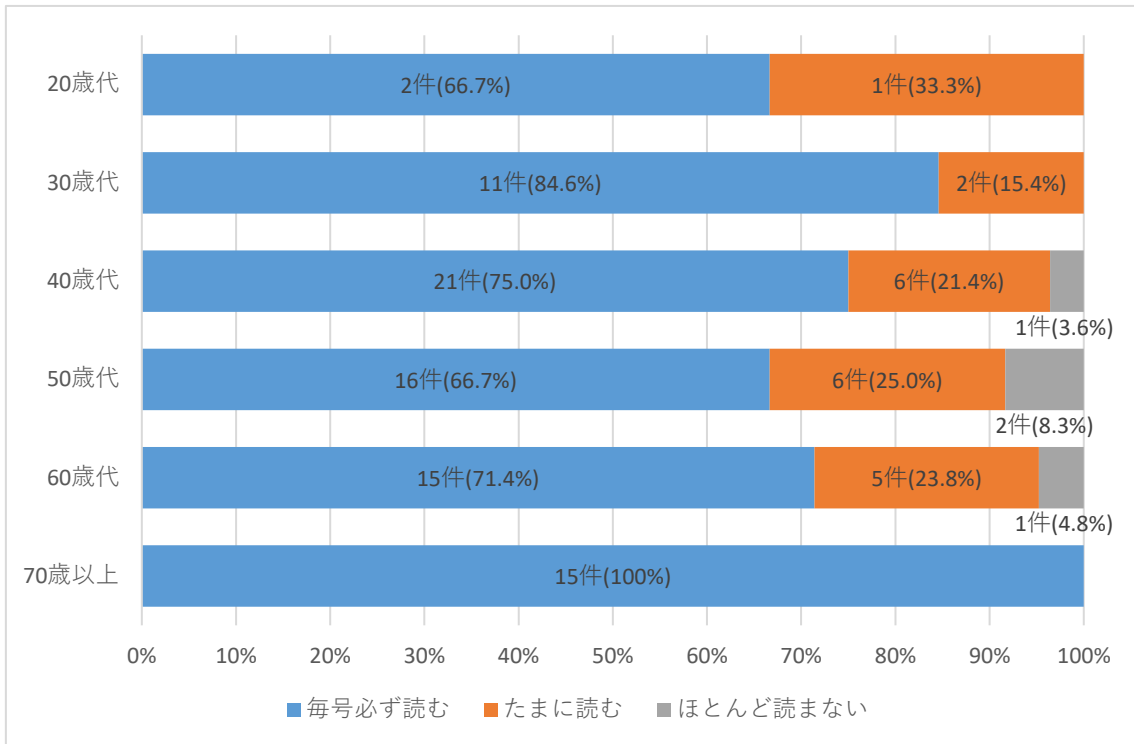
Q2 職業を教えてください



広報紙について

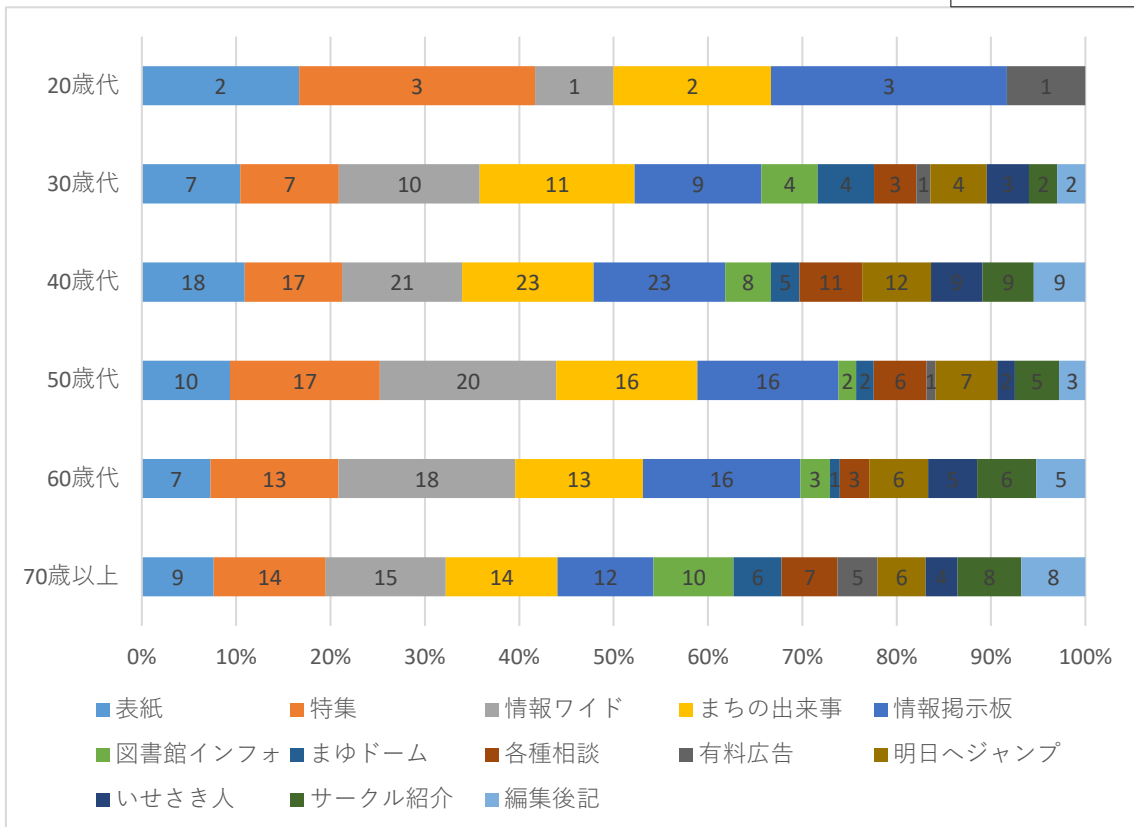
回答数=104

Q1 「広報いせさき」を普段どれくらい読みますか



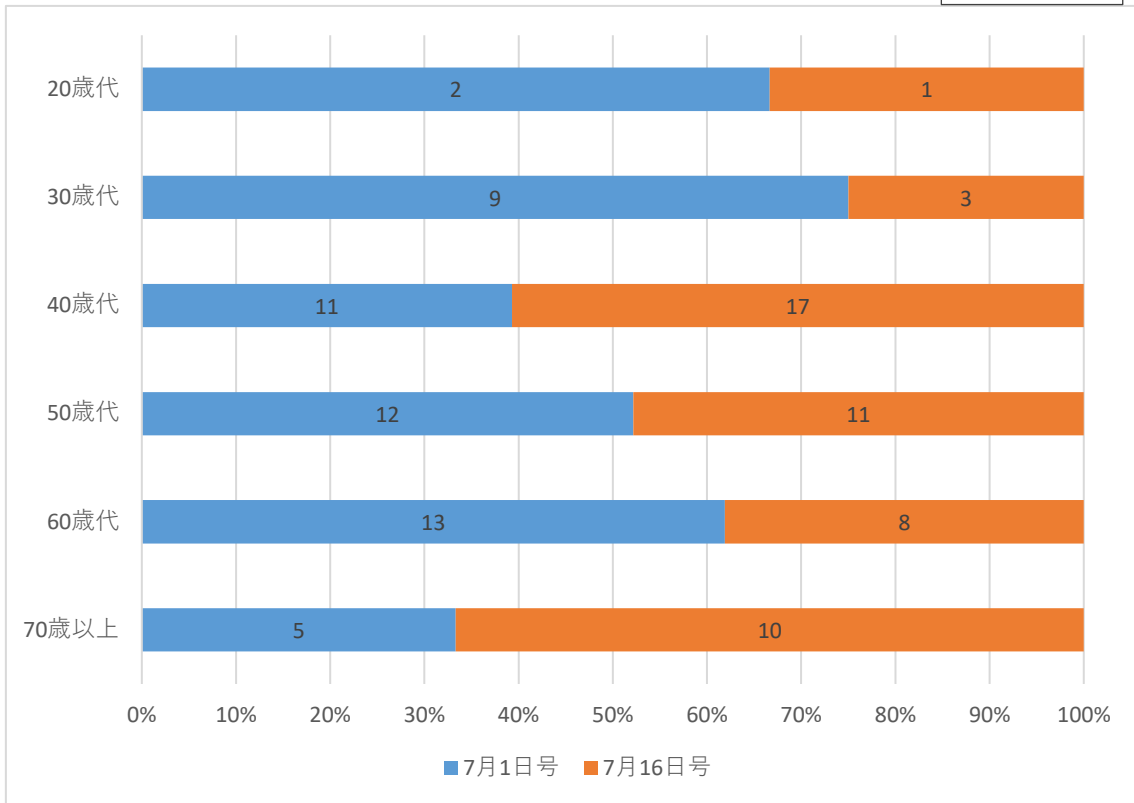
回答者数=103
回答件数=565

Q2 「広報いせさき」の必ず読むページはどこですか（複数選択可）

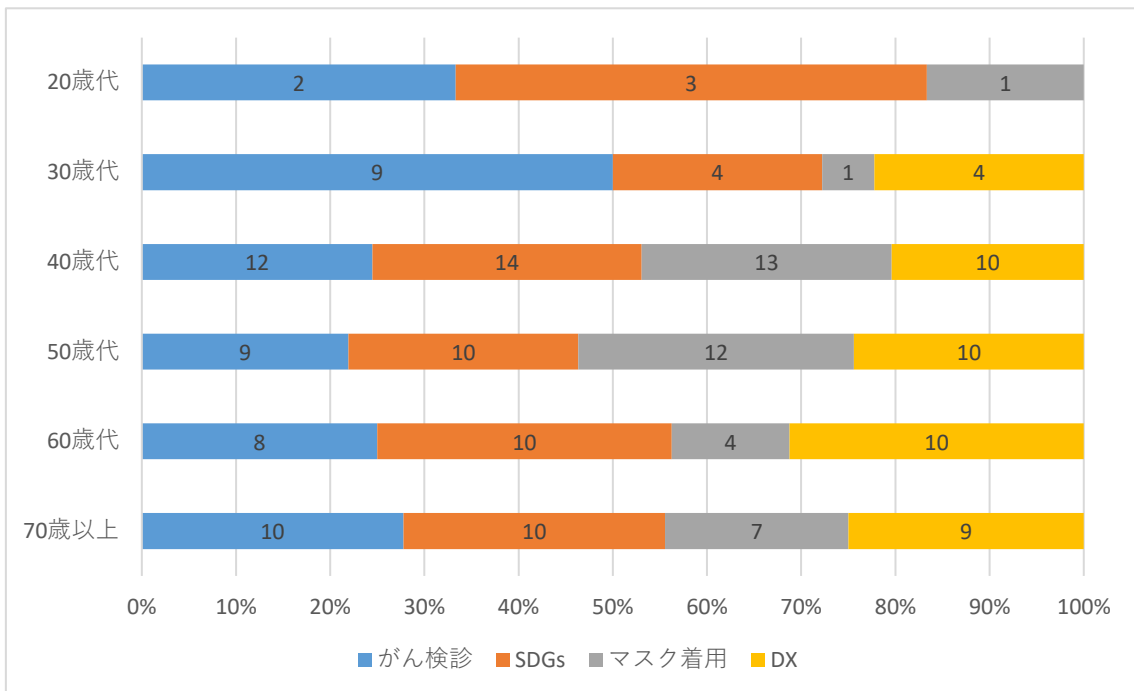


Q3 7月1号・7月16号のどちらの表紙が良かったですか

回答数=102



Q4 7月1号・7月16日号で良かった特集を教えてください（複数選択可）

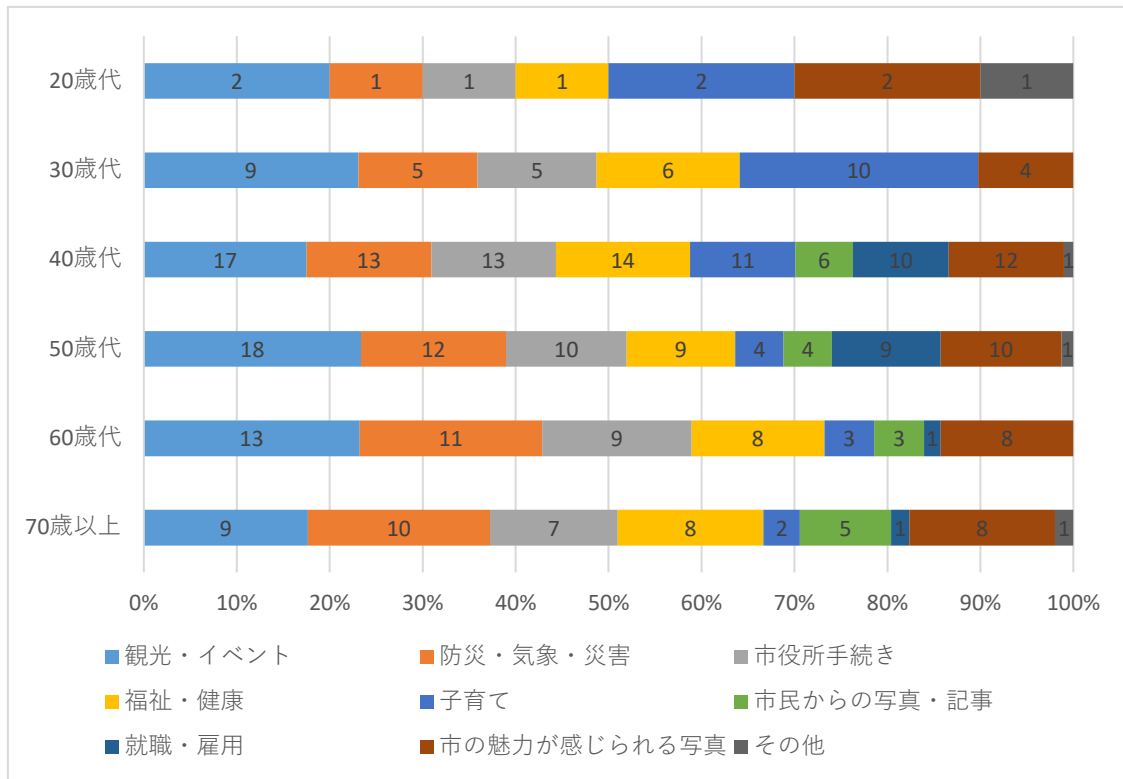


回答者数=101
回答件数=182

回答者数=103

回答件数=330

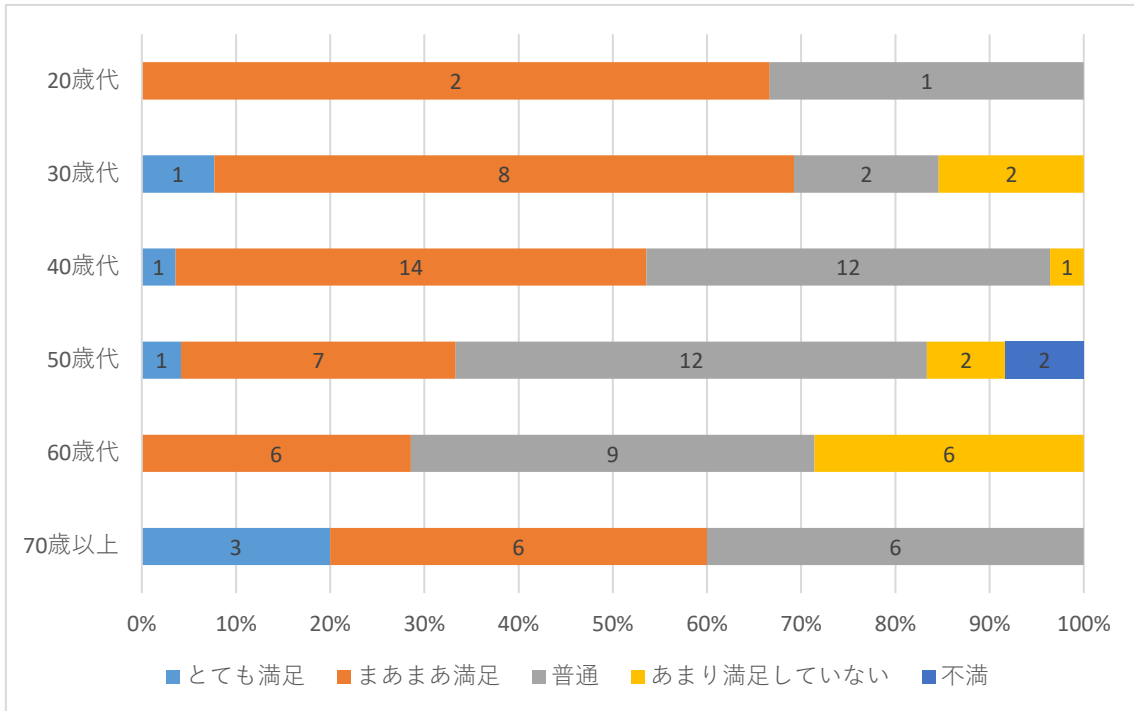
Q5 「広報いせさき」で充実してほしい内容がありますか（複数選択可）



Q6 「広報いせさき」について

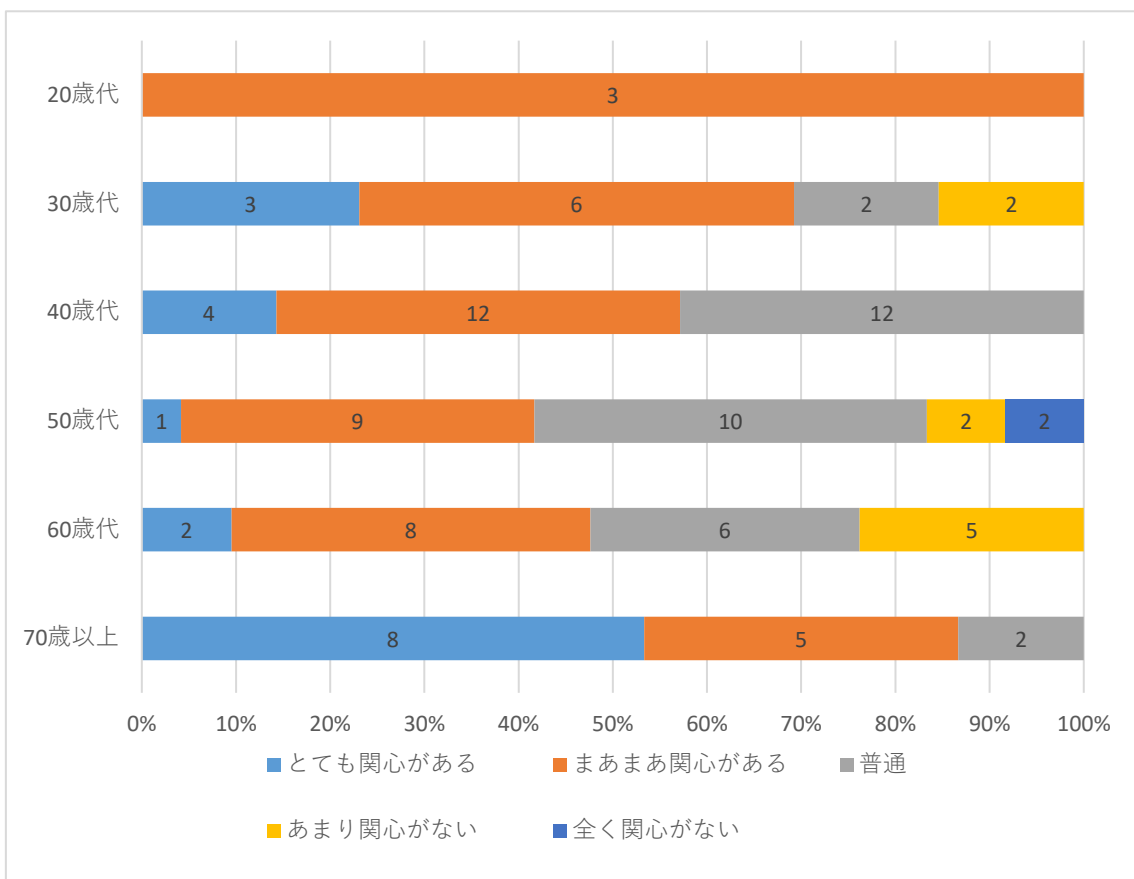
回答数=104

(1) 全体の満足度



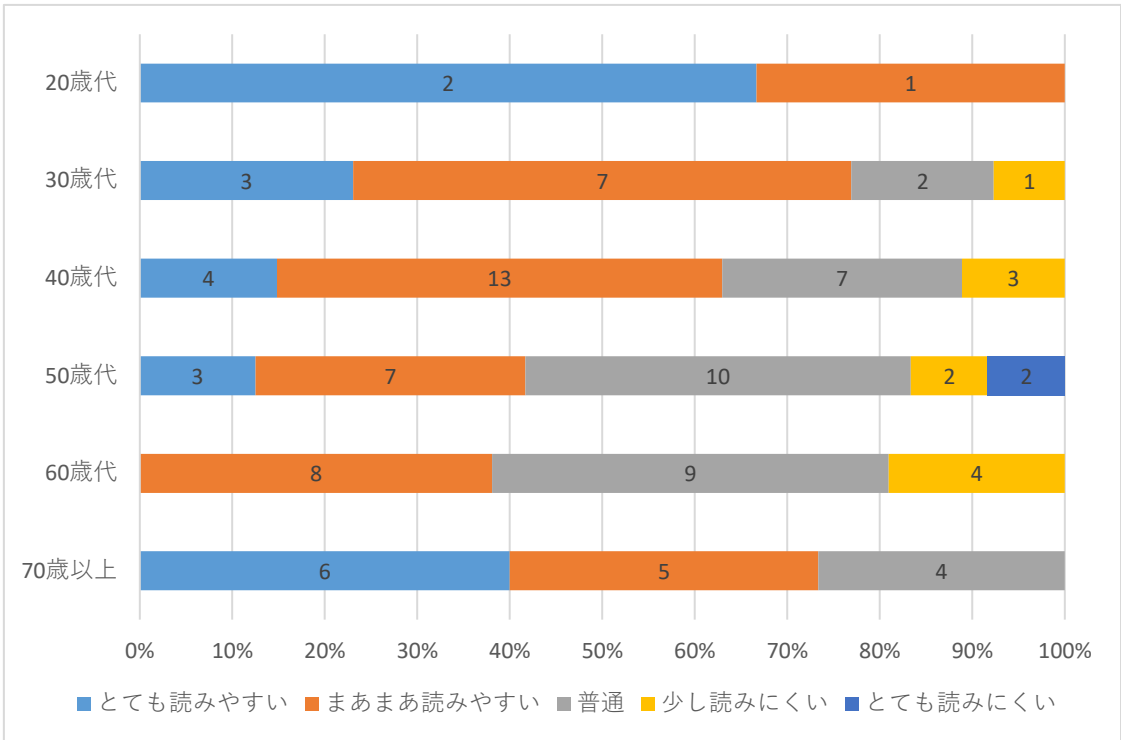
(2) 掲載内容への興味や関心

回答数=104



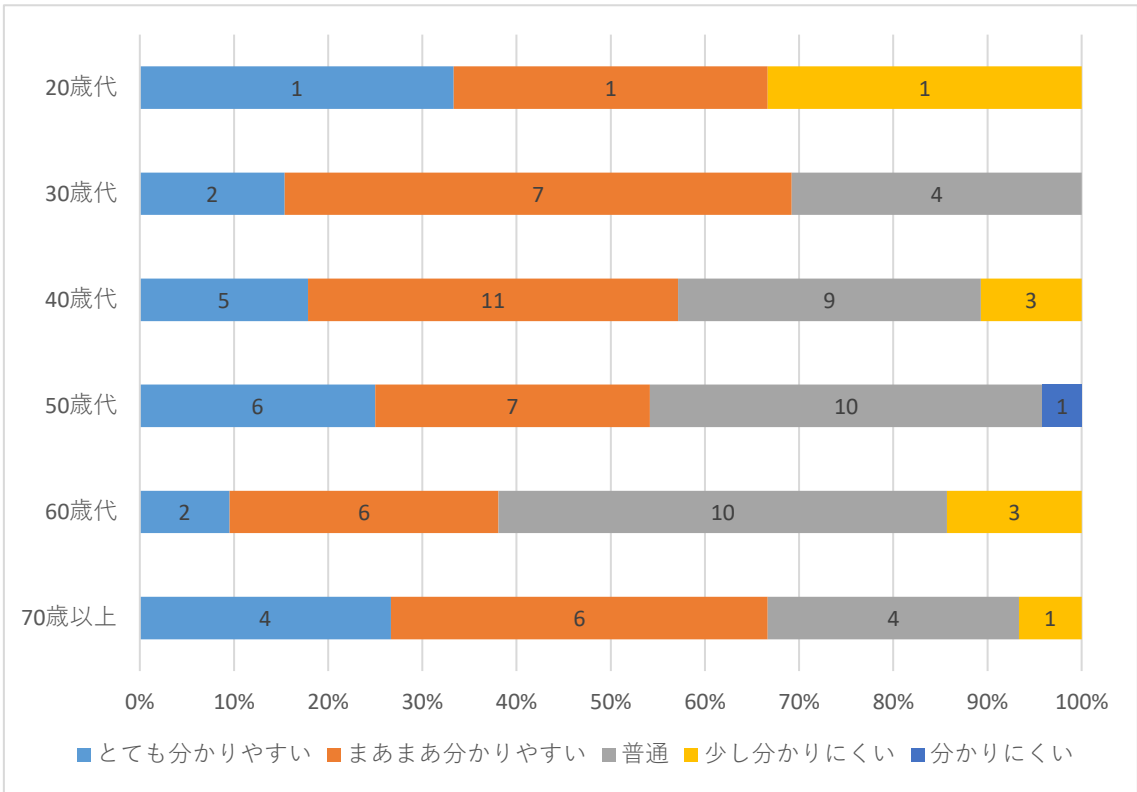
回答数=103

(3) レイアウトや文字の大きさなどの読みやすさ



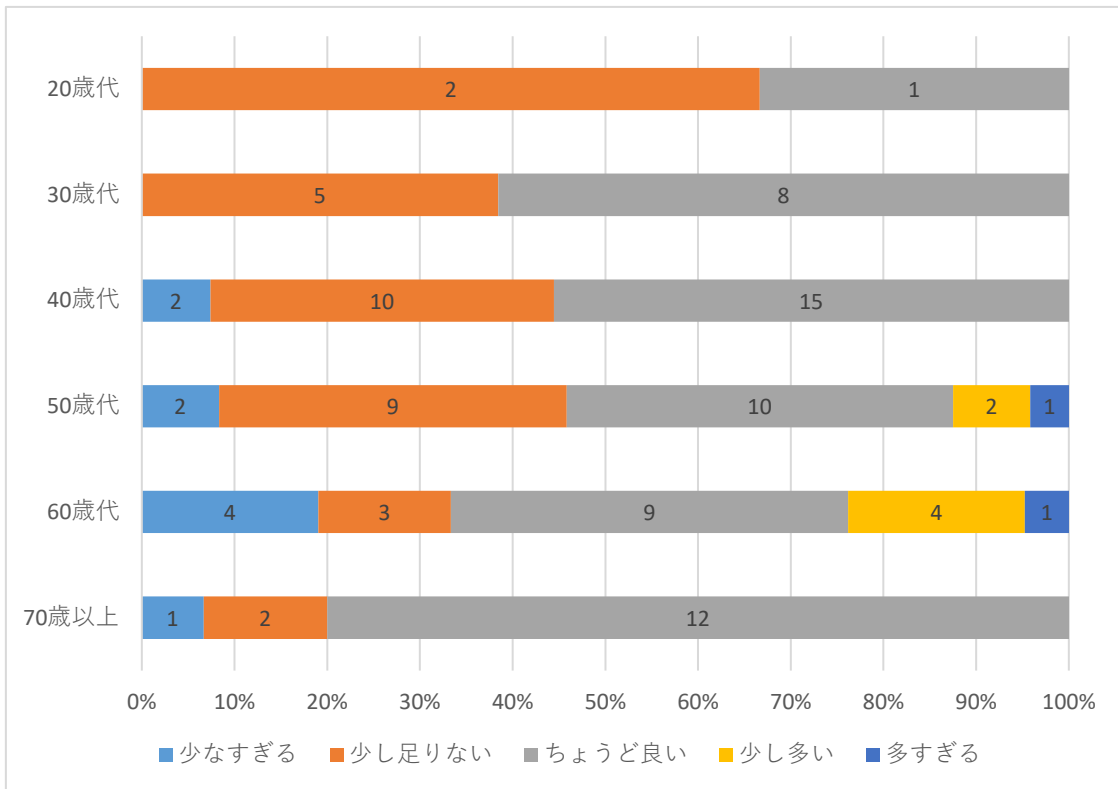
回答数=104

(4) 文章の分かりやすさ



(5) 情報量

回答数=103



市の情報発信に関するアンケート

集計結果

アンケート概要

■ 目的

本市では、広報いせさきをはじめ、ホームページ、SNSなどを通じて、市民へ市政情報を届けています。市の情報発信に関する市民ニーズなどを把握し、より効果的な情報発信を行うための参考とします。

■ 実施期間

令和4年8月16日（火）から9月11日（日）まで

■ 実施方法

回答用紙・専用ホームページ

■ 対象

市内に在住または在勤・在学の人

■ 回答者数

1,497人

■ 有効回答数

1,496件

※必須回答項目の「年齢」「職業」が未回答の場合は、当該回答者の回答を全て無効として取り扱っています

■ 備考

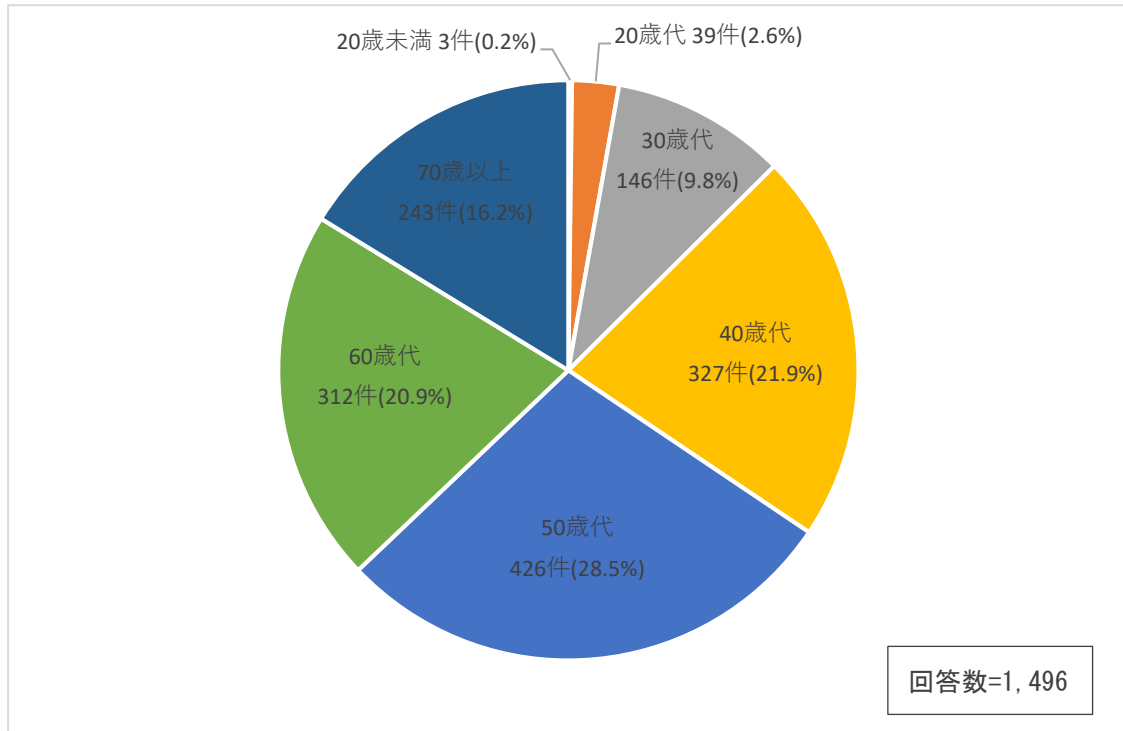
- ・定められた回答上限数を超える回答があった質問事項においては、無効として取り扱っています
- ・自由記述は、意見を要約して掲載します。また、本アンケートの主旨に関係のない記述は掲載していません

パーセンテージの取り扱いについて

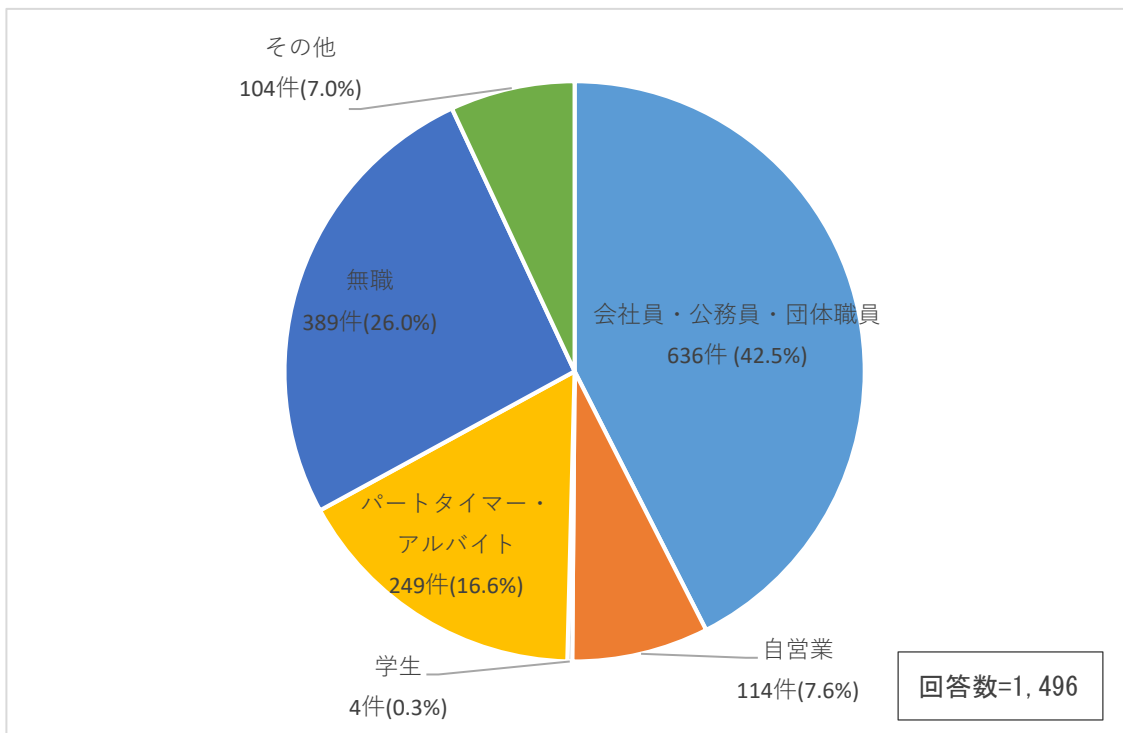
- ・すべてのグラフにおいて少数第2位を四捨五入して算出しています
※円グラフにおいて回答項目の合計が100%にならない場合があります
- ・複数回答式の結果として表示しているパーセンテージについては有効回答数（1,496人）を元の値として算出しています
- ・Q7-1は有効回答数（1,496人）から未回答（9人）及び無効（5人）を差し引いた値（1,482人）を元の値として算出しています
- ・Q7-2はQ7-1で1～3を選択した人数（1,351人）から未回答（13人）及び無効（3人）を差し引いた値（1,335人）を元の値として算出しています
- ・Q7-4はQ7-1で4・5を選択した人数（131人）を元の値として算出しています
- ・Q8は有効回答数（1,496人）から未回答（42人）を差し引いた値（1,454人）を元の値として算出しています

回答者の属性

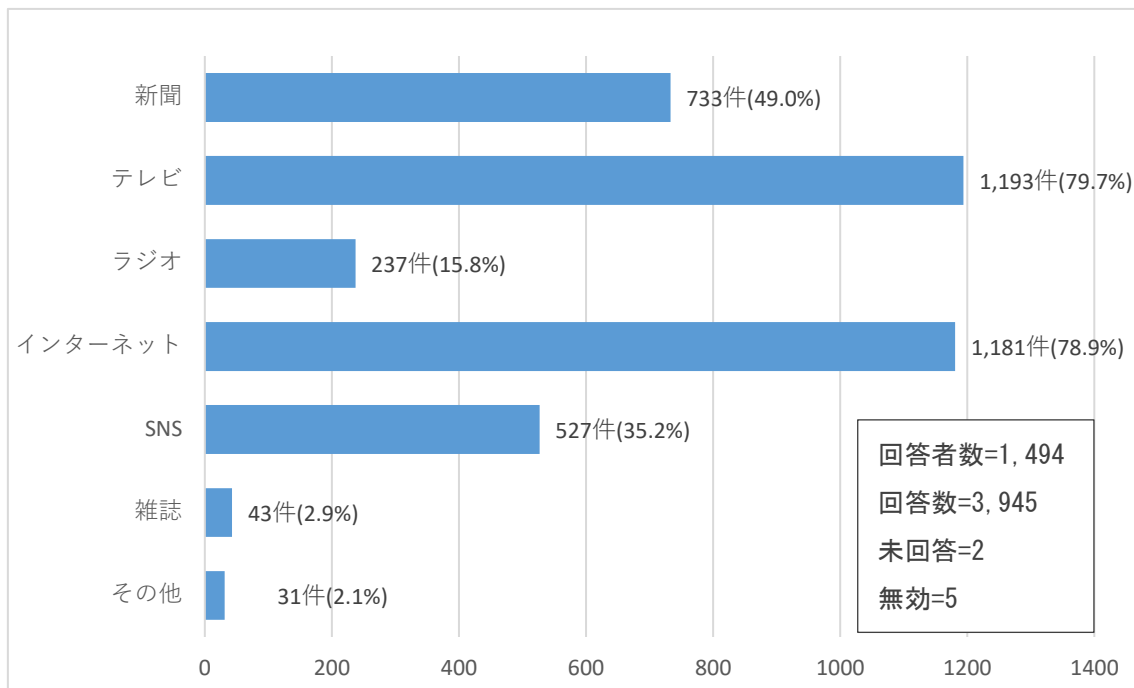
Q1 年齢を教えてください



Q2 職業を教えてください



Q3 日常生活に関する様々な情報を主に何から入手していますか（3つまで回答）

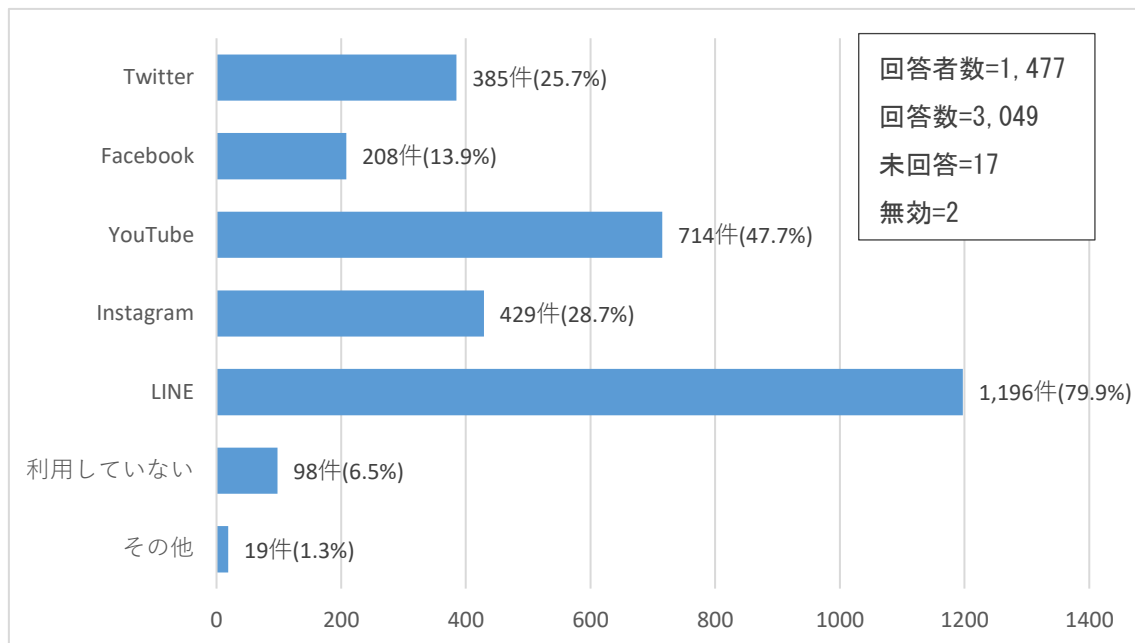


●日常生活に関する情報の入手手段として回答が多かったのは「テレビ」と「インターネット」で、いずれも回答者の約8割が選択をしました。

その他（31件）

親戚・知人・友人など身の回りの人から（15件）
広報紙など（8件）
スマホのアプリ・メールなど（6件）
防災行政無線（1件）
新聞（1件）

Q4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください（3つまで回答）

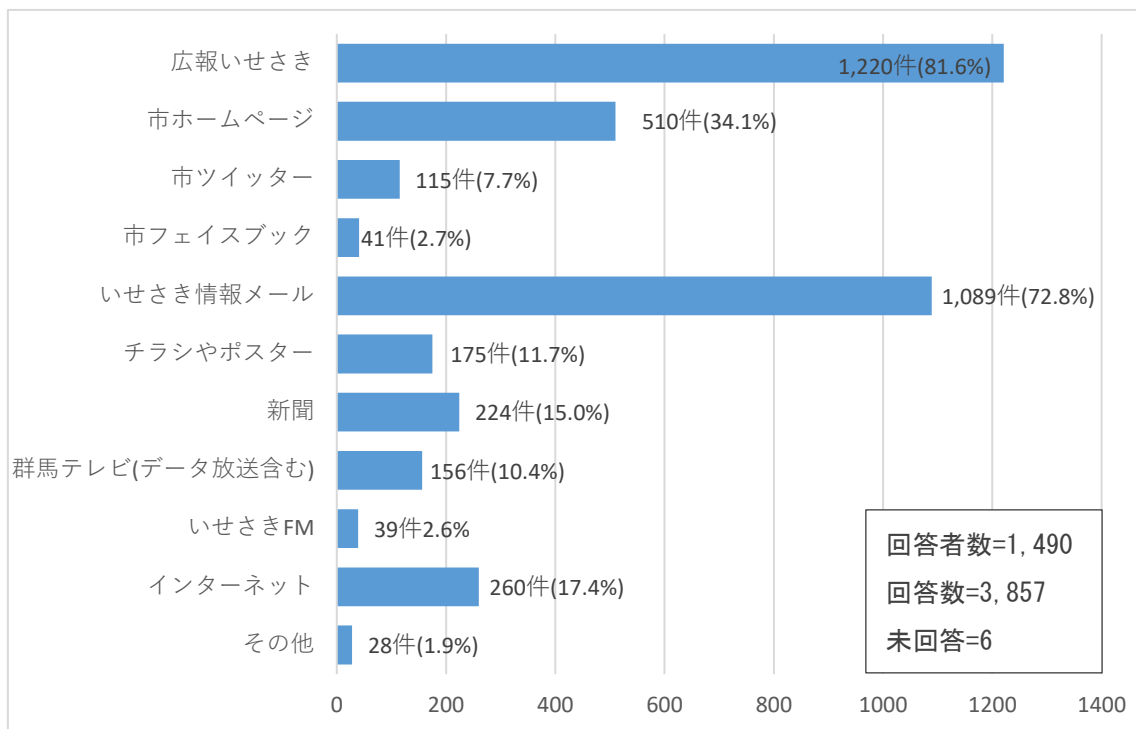


●よく利用するSNSとして最も多かったのは、「LINE」で回答者の79.9%が選択をしました。次いで多かったのは「YouTube」で回答者の47.7%が選択をしました。

その他（19件）

TikTok（2件）
その他SNSに該当しない回答（17件）

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)

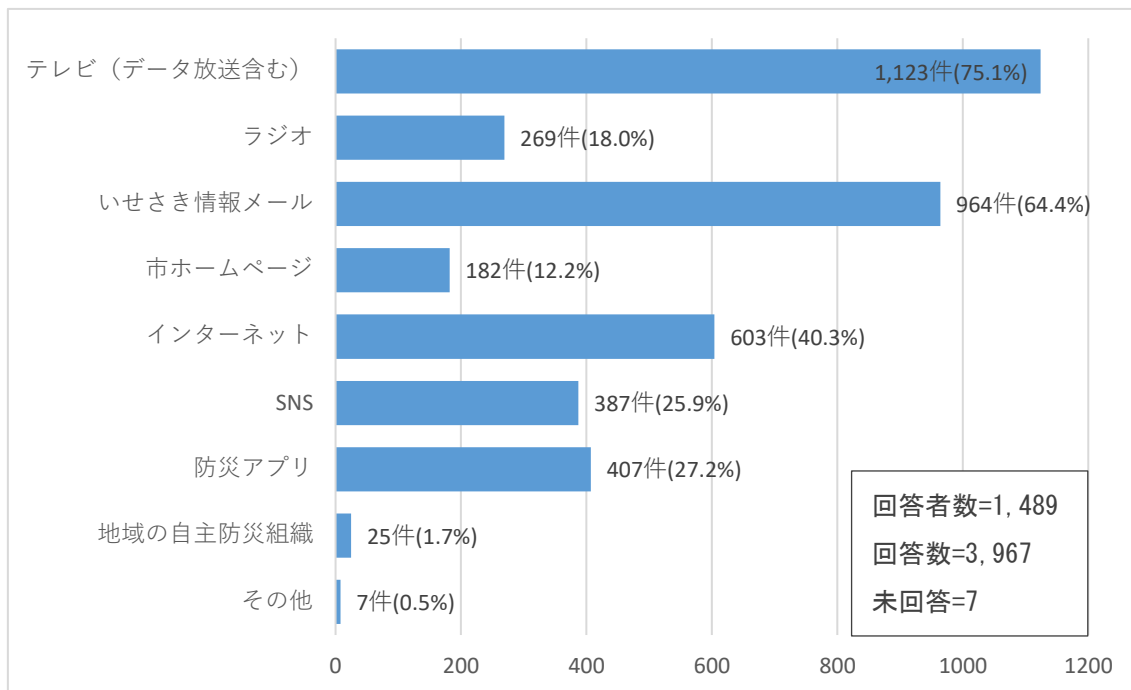


- 市からの情報の入手手段として最も多かったのは「広報いせさき」で回答者の81.6%が選択をしました。次いで多かったのは「いせさき情報メール」で回答者の72.8%が選択をしました。

その他（28件）

親戚・知人・友人など身の回りの人から（6件）
Instagram・LINE・市公式以外のFacebookなど他のSNS（6件）
公民館だよりや公民館内に掲示のポスターやチラシ（3件）
マチイロ（3件）
回覧板（2件）
専門家の相談など（1件）
市の情報は回ってこない（1件）
その他（6件）

Q6 災害時の情報を主に何から入手していますか（複数回答可）

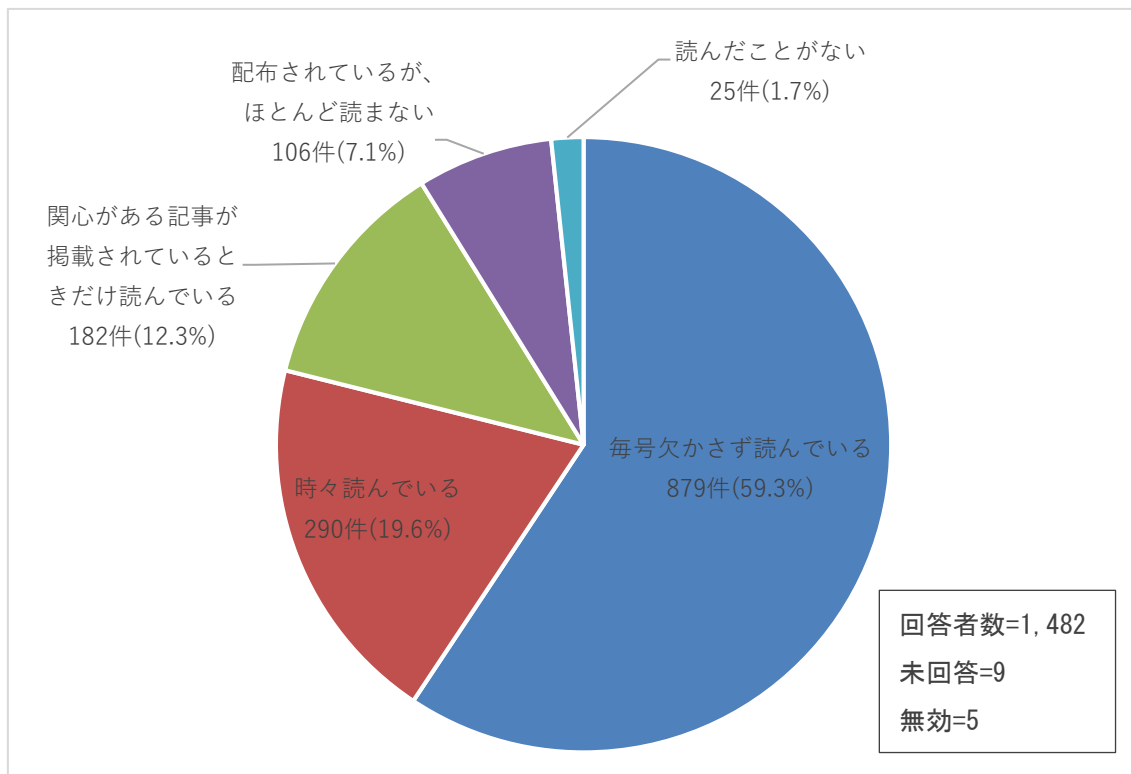


- 災害時の情報の入手手段として最も多かったのは「テレビ（データ放送含む）」で75.1%の人が選択をしました。次いで多かったのは「いせさき情報メール」で64.4%の人が選択をしました。

その他（7件）

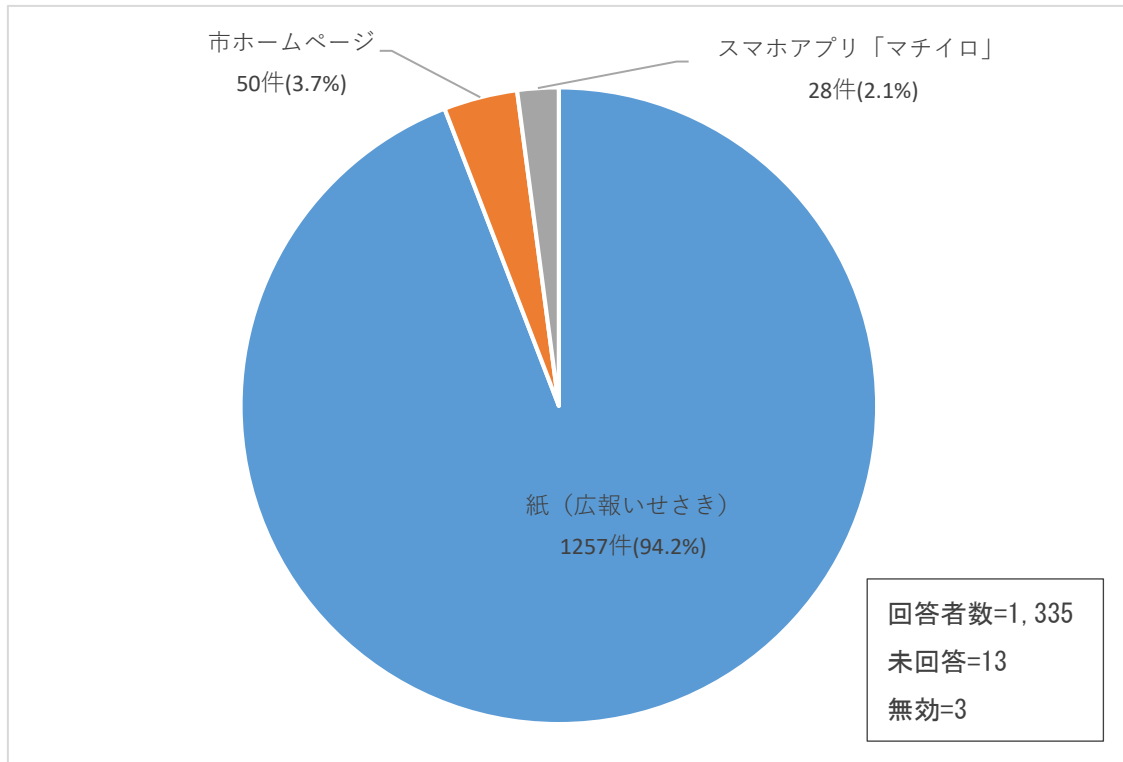
防災行政無線（2件）
他の情報メールなど（2件）
東京電力の停電情報（1件）
親戚・知人・友人など身の回りの人から（1件）
ウェザーニュース（1件）

Q7-1 広報いせさきをどのくらい読んでいますか（紙やホームページなどで）



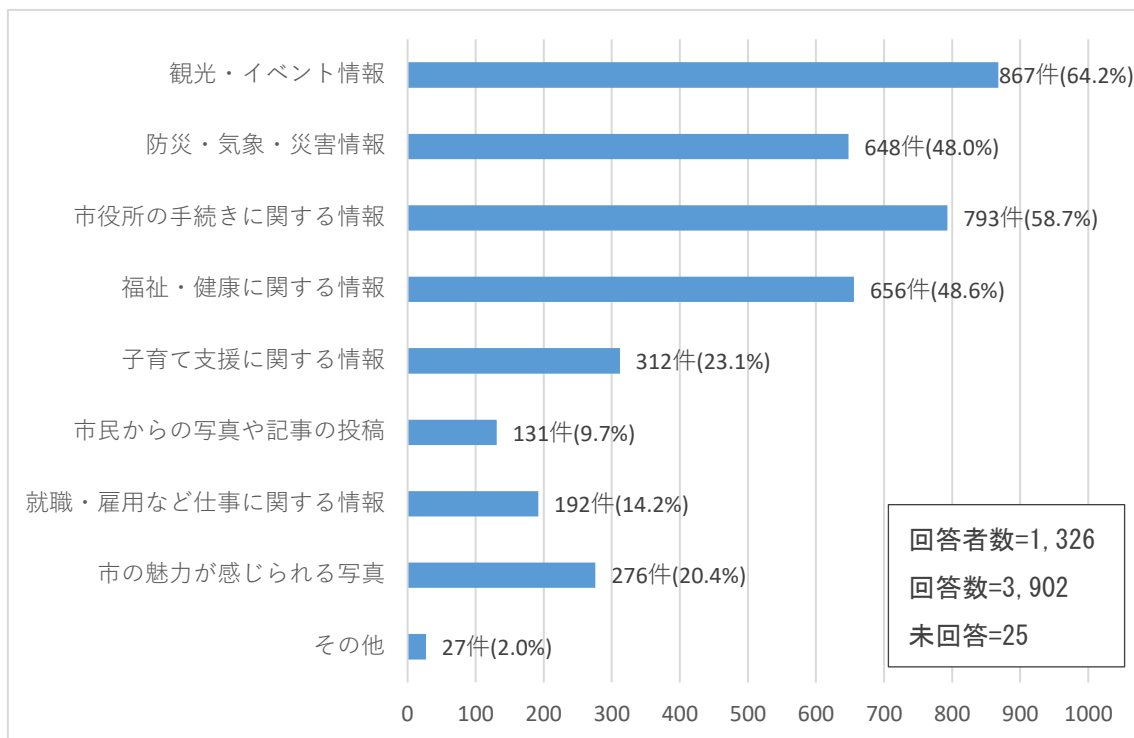
- 「毎号欠かさず読んでいる」と回答した人は59.3%、「時々読んでいる」と回答した人は19.6%、「関心がある記事が掲載されているときだけ読んでいる」と回答した人は12.3%でした。一方で「配布されているが、ほとんど読まない」「読んだことがない」と回答した人は合せて8.8%でした。

Q7-2 【1～3を選んだ方】広報いせさきを読むのに最も利用する媒体はどれですか



●広報いせさきを読む媒体としては「紙（広報いせさき）」が多く、全体の94.2%を占めました。

Q7-3 【1～3を選んだ方】広報いせさきでどのような内容を充実してほしいですか
(複数回答可)



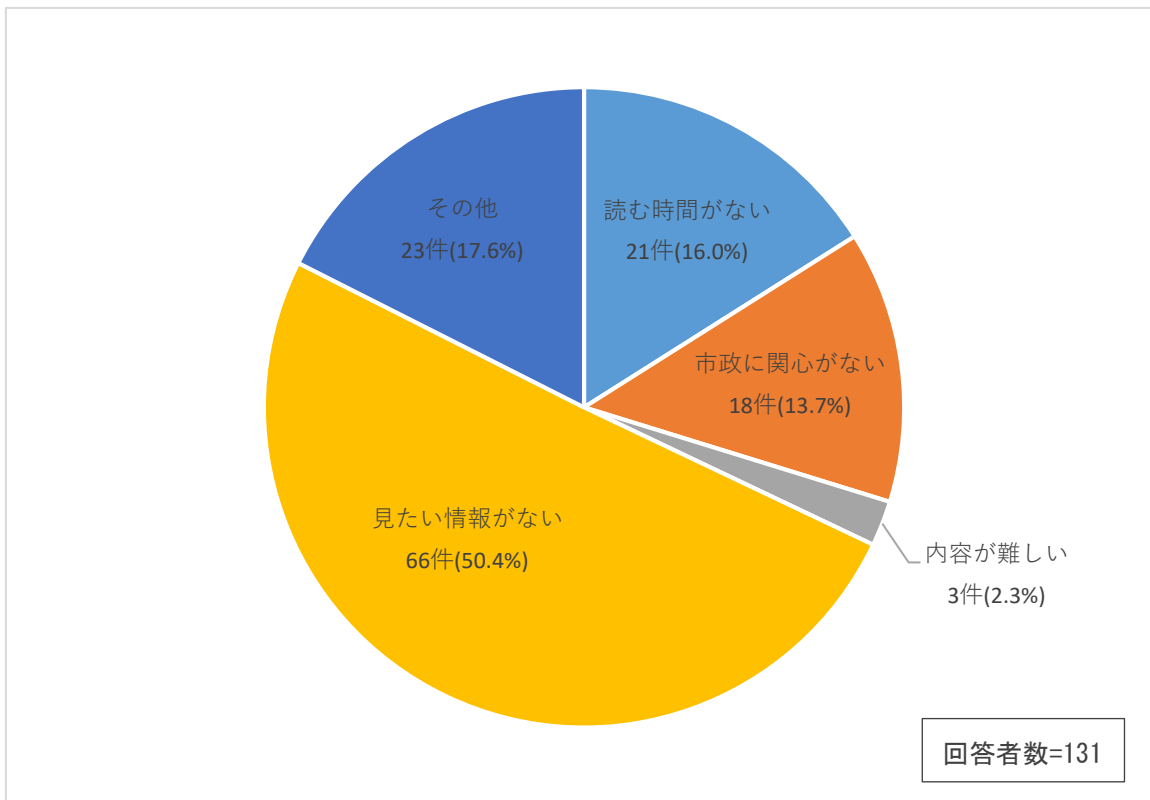
●広報いせさきで充実してほしい内容として最も多かったのは「観光・イベント情報」で64.2%、次いで「市役所の手続きに関する情報」が58.7%でした。

その他（27件）

税金や補助金の話など（2件）
交通弱者への情報や安全に関する情報など（2件）
介護に関する情報やバリアフリー施設などの情報（2件）
市や町の歴史
外国籍の人向けのごみの出し方など
各種制度の紹介
市内の商業施設等休日過ごせる場所の紹介
市の新しい事業
スタイリッシュにしてほしい
PTA など活動への取材募集告知、子どもの習い事の情報
犬の散歩マナー
ボランティア募集

など計27件

Q7-4 【4・5を選んだ方】広報いせさきを読まない理由は何ですか

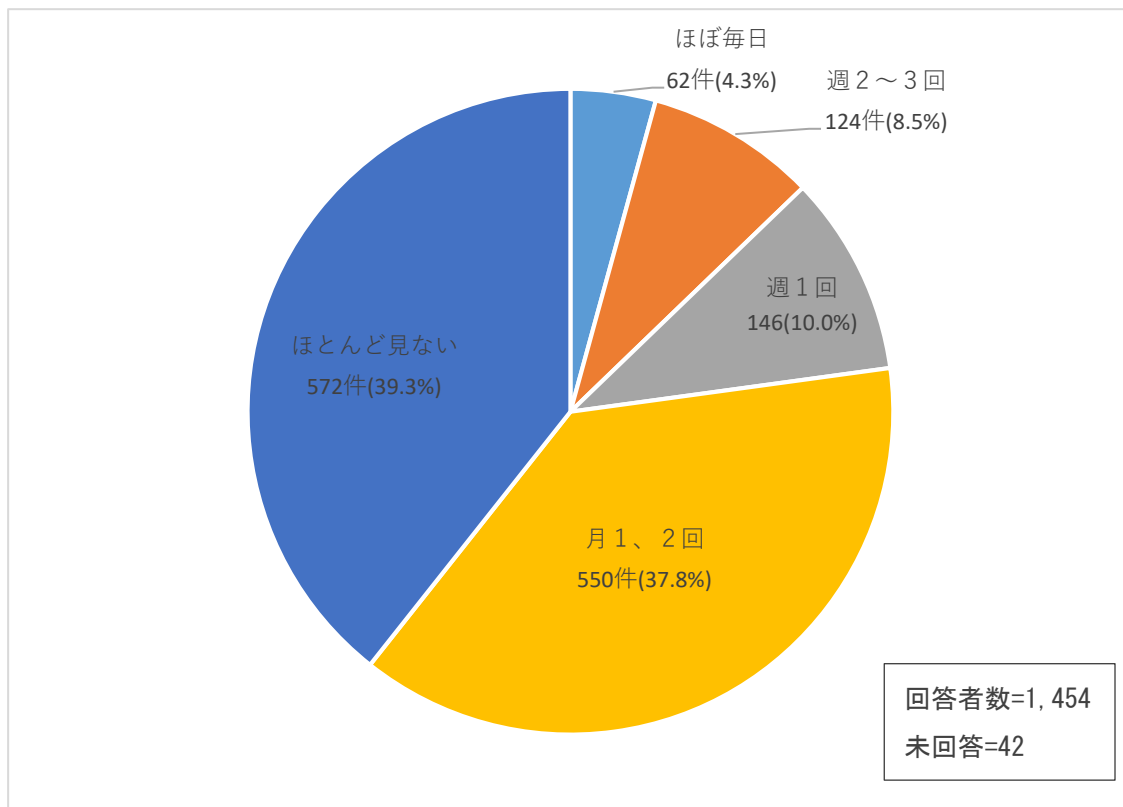


- 広報いせさきを読まない理由として最も多かった回答は「見たい情報がない」で50.4%となりました。

その他（23件）

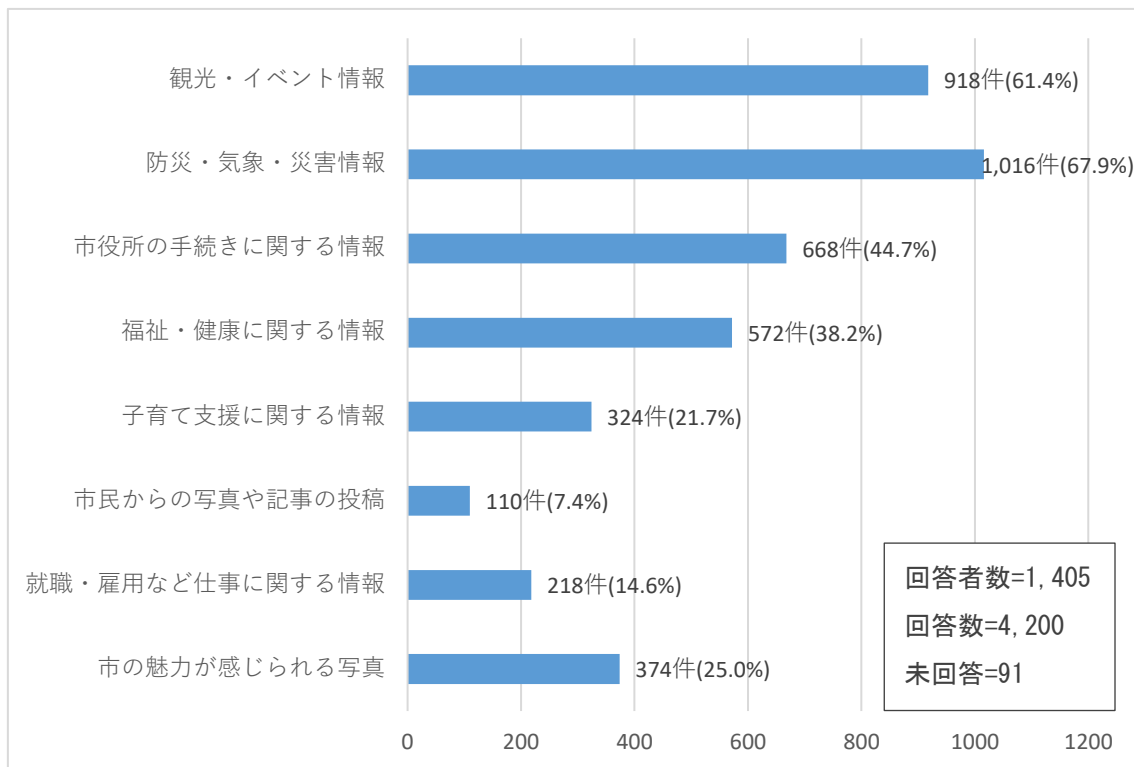
配布されていない（11件）
知りたい情報はインターネットで取得している（4件）
同居者が管理・処分をしている（2件）
スマホの方が手軽に情報を取得できるため（1件）
文字が小さくて読む気がしない（1件）
読むのが面倒（1件）
面白くない（1件）
紙ではなくネットなら読みたい（1件）
優先順位が高くないため、気が向いたら読む。丸まって届くため、読みにくい（1件）

Q8 市ホームページをどのくらいの頻度で利用しますか



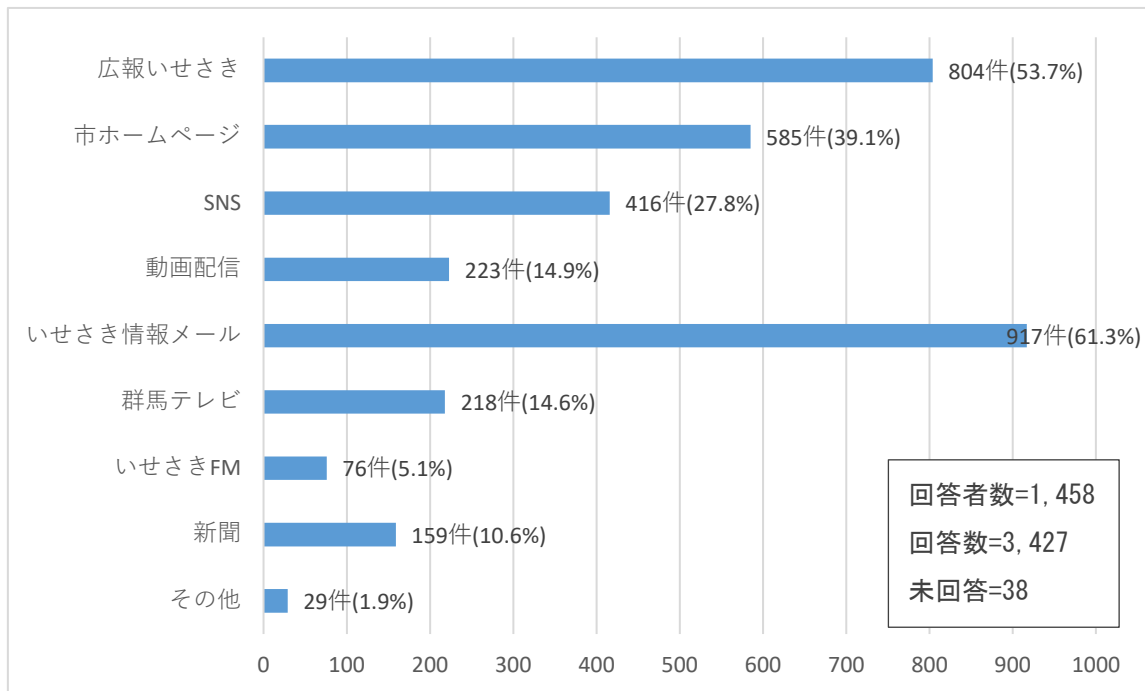
●市ホームページの利用頻度について、最も回答が多かったのは「ほとんど見ない」で39.3%、次いで「月1、2回」が37.8%となりました。

Q9 SNSでどのような市政情報を発信してほしいですか（複数回答可）



●SNSで発信してほしい市政情報としてもっとも回答が多かったのは「防災・気象・災害情報」で67.9%でした。次いで多かったのは「観光・イベント情報」で61.4%でした。

Q10 今後、特に力を入れて発信してほしい、市政の情報発信手段はどれですか（あてはまるものをすべて）



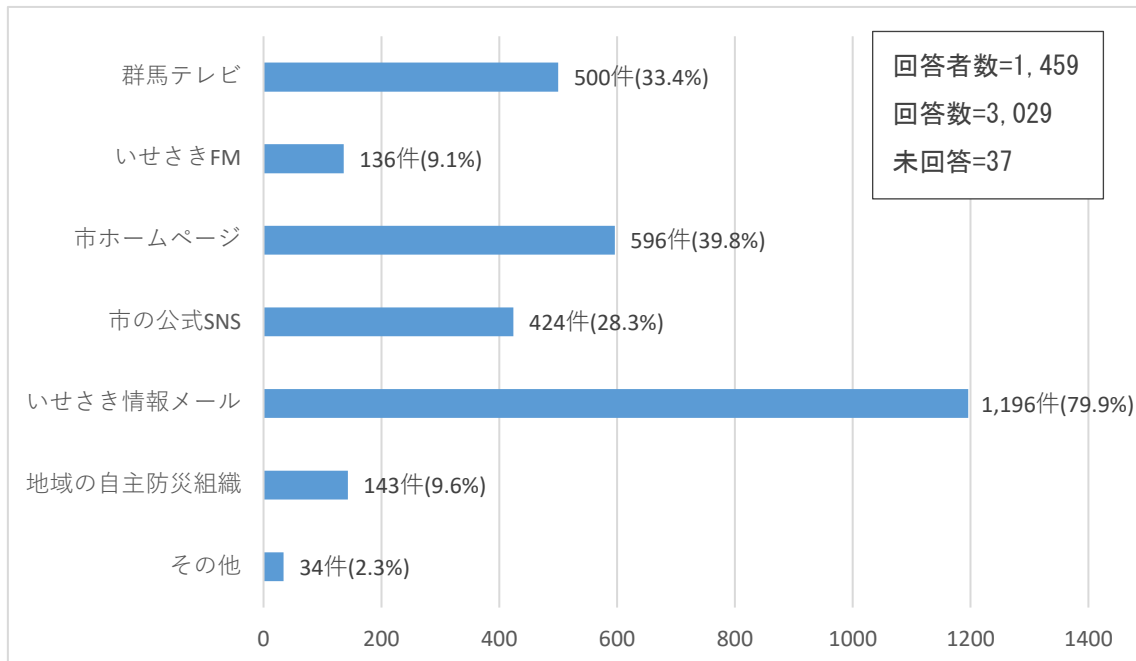
●今後力を入れてほしい市政の情報発信手段として最も回答が多かったのは「いせさき情報メール」で61.3%でした。次いで多かったのは「広報いせさき」で53.7%となりました。

その他（29件）

LINE（11件）
Instagram（3件）
群馬テレビ（データ放送）（2件）
防災行政無線の再整備（1件）
FMぐんま（1件）
TikTok（1件）
その他（10件）

など計29件

Q11 地域に密着した災害時の情報を入手する場合、今後あなたが利用したい手段は何ですか（あてはまるものをすべて）



●地域に密着した災害時の情報の入手手段として今後利用して手段については、最も多かったのは「いせさき情報メール」で79.9%となりました。次いで多かったのは「市ホームページ」で39.8%となりました。

その他（34件）

LINE（7件）
NHK や民間放送の情報番組など（5件）
Instagram（3件）
防災行政無線（3件）
防災アプリなど（3件）
県や国の防災情報（1件）
現状のとおりで良い（1件）
ネットニュース（1件）
その他（10件）

など計34件

【各項目に記述できなかった意見・記載されていた質問への回答以外の意見】

いせさき情報メールで題名を見た時に、雷や竜巻などすぐ分かるようにしてほしい。注意報の発表は文中に入れてほしい。開く前に何の注意報か分かるようにしてほしい
防災無線を設置してほしい
Twitter アカウントを部署ごとか、災害・イベントなどジャンルごとに作成して欲しい。人によってどうしても良い情報が多すぎるため
あだち充記念館を作してほしい
年配者や IT リテラシーの低い人を考えると、データ放送などの伝達手段も有効であると感じる。現状はデータが大枠で地域の詳細が分かれると良い。
伊勢崎市は特に進化していく市と感じられない。情報発信する内容があるか疑問を感じる
伊勢崎市は母子家庭家庭には住みづらい
あずま地区は合併とともに防災無線がなくなり、防犯、災害、局地的なことに、不安な事がある。防災無線で夕方のチャイムくらいは鳴らしてほしい。
広報伊勢崎は希望者にはネット配信に変更したほうがよい。すぐゴミになる。紙の無駄使い
(広報紙は)月に1回でいい
(広報紙は)月に2回は多いと思う
(広報紙は)1回でも良いのでは
月に2回の発行は多すぎる。内容も薄いのでここに税金をかけるなら違うところに使ってほしい。月に一度とかに減らしてほしい。
紙媒体を月一回でも良いのではないか。
70 歳以上にもホームページの見方教室があると良い
紙ベースよりデータ配信時代だが、広報は紙ベースの方が近づけたりページを広げたりできて見やすい。ホームページにはなかなかいかないが、情報メールは必要であろう情報が適宜届きとてもありがたい。ラジオは聴かないし、群テレも観ない、YouTube を開いてみるほどのことでもないし、Facebook や Twitter はアカウントを持っていないとログインできないので物理的に見れない。やはり広報ないし情報メールという選択肢に落ち着く。もっとも、広報紙を見るのは高齢者で、若者は見ない。テレビやラジオ、YouTube は機会が無ければつけない。SNS はネットに弱い世代には扱えない。ログインするために新規登録をする手間が面倒くさい。そうすると見るにいたらない。それを網羅すると、やはり紙ベースか情報メールに落ち着く。紙ベースは、読んだ後捨てられてしまうので、費用を考えるともったいない気もするが、一度カラーにしたらそれ以外は読む気にならないだろうし、あんなにしっかりした紙でなくても良い気もするし、個人的には好きであるが、今は学校もメール配信時代。となると、やはり、メール一択になるのかもしれない。

市の情報発信に関するアンケート

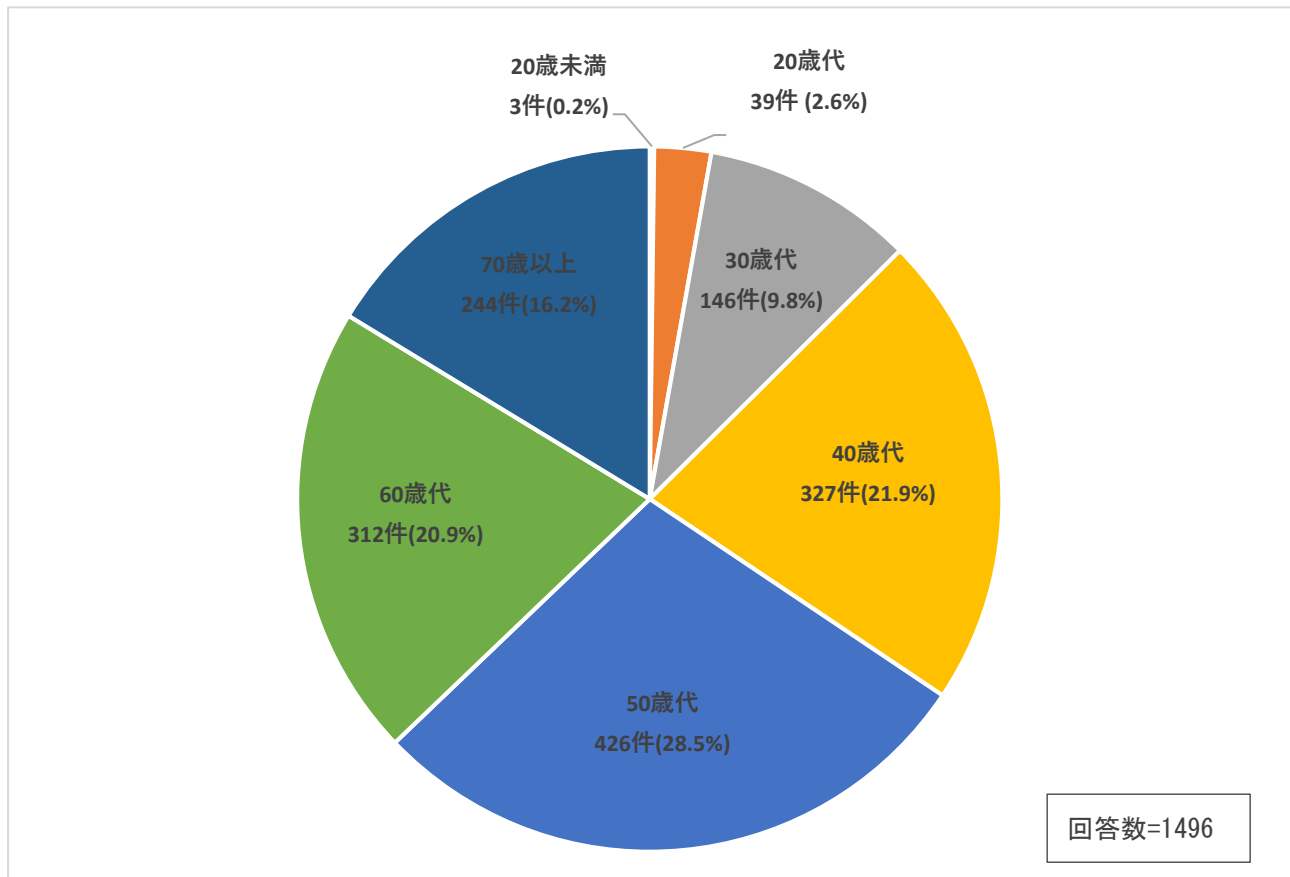
年齢別集計結果

パーセンテージの取り扱いについて

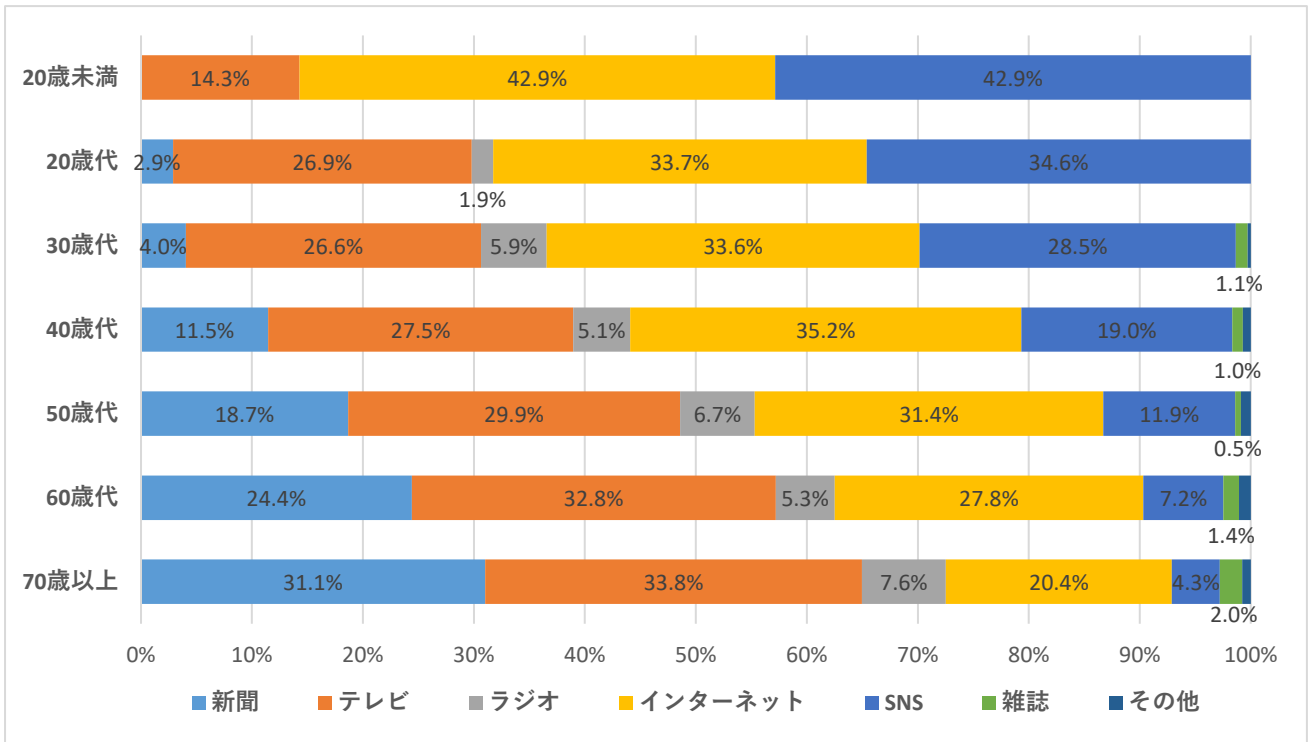
少数第2位を四捨五入しているため、回答項目の合計が100%にならない場合があります

回答者の属性

Q1 年齢を教えてください



Q3 日常生活に関する様々な情報を主に何から入手していますか（3つまで回答）



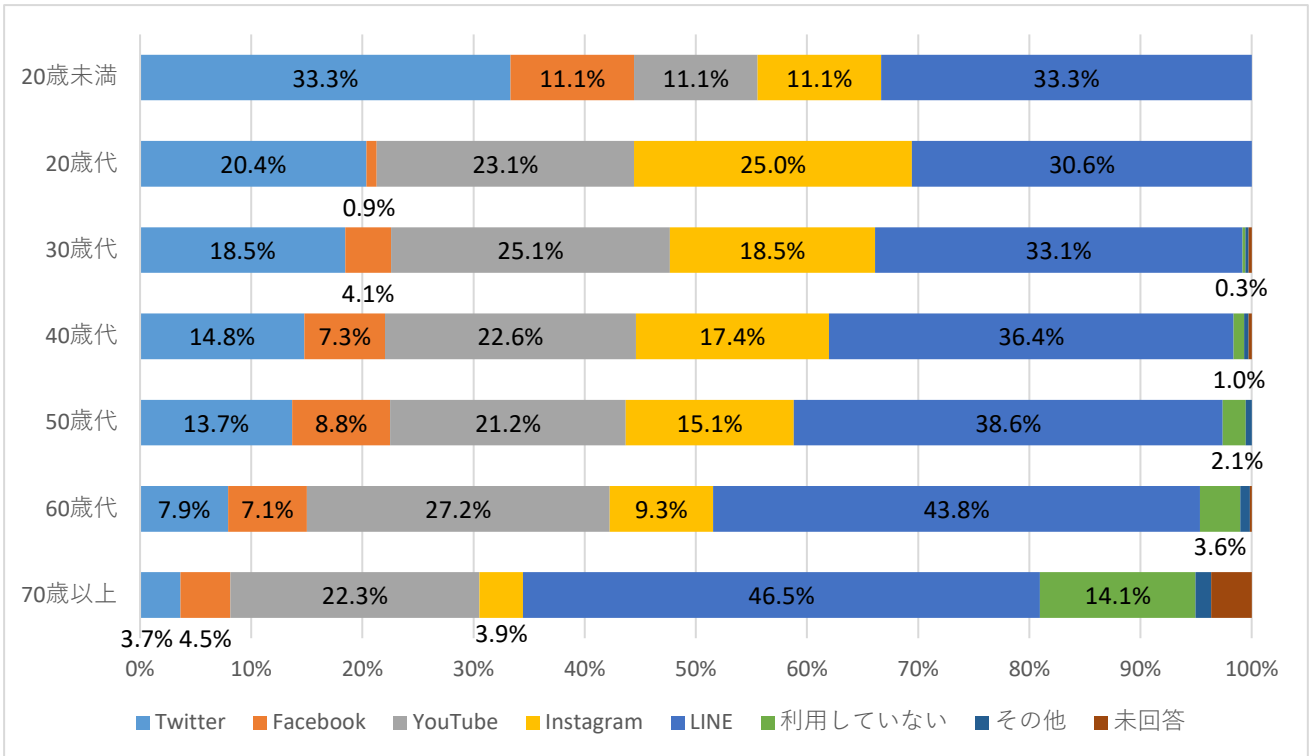
未回答 2 件（30 歳代：1 件、40 歳代：1 件）

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	0.0%	
30 歳代	0.3%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(1 件)
40 歳代	0.7%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(3 件)／スマホのアプリ・メールなど(2 件)／広報紙など(1 件)
50 歳代	0.9%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(4 件)／スマホのアプリ・メールなど(2 件)／広報紙など(2 件)／防災行政無線(1 件)／新聞(1 件)
60 歳代	1.1%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(5 件)／広報紙など(3 件)／スマホのアプリ・メールなど(1 件)
70 歳以上	0.8%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(2 件)／広報紙など(2 件)／スマホのアプリ・メールなど(1 件)

●日常生活に関する情報の入手手段としては、年齢が高くなるほど、「新聞」や「雑誌」などの紙媒体と「テレビ」と回答した人の割合が多くなっています。一方で、「インターネット」や「SNS」と回答した人の割合は若い世代ほど多くなっています。

Q4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください（3つまで回答）



【(グラフ内記載なし)「利用していない」「未回答」の割合】

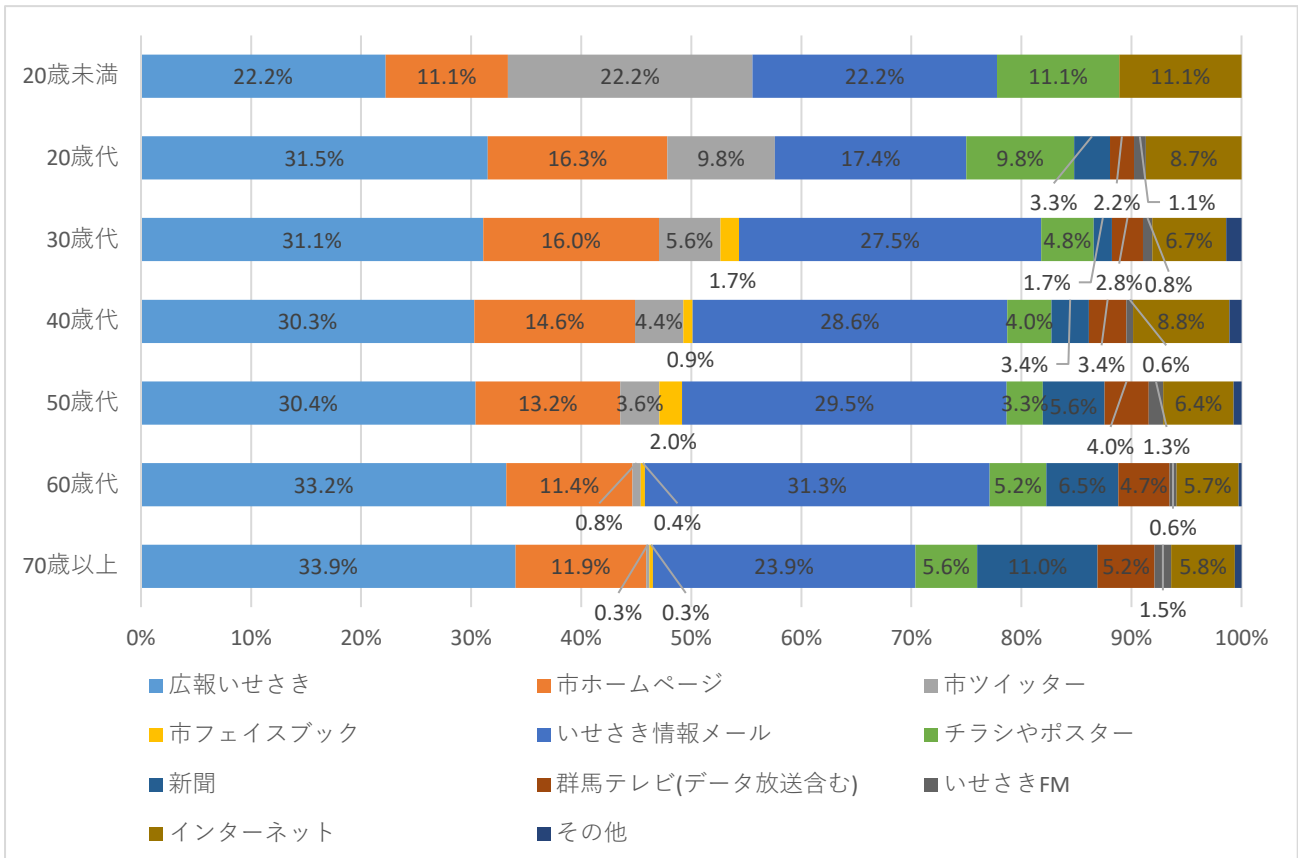
20歳未満・20歳代：「利用していない」0件 「未回答」：0件
 30歳代：「利用していない」1件(0.3%) 「未回答」：1件(0.3%)
 40歳代：「利用していない」3件(1.0%) 「未回答」：2件(0.3%)
 50歳代：「利用していない」19件(2.1%) 「未回答」：0件
 60歳代：「利用していない」21件(3.6%) 「未回答」：1件(0.2%)
 70歳以上：「利用していない」50件(14.0%) 「未回答」：13件(3.6%)

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20歳未満	0.0%	
20歳代	0.0%	
30歳代	0.3%	ネットニュース(1件)
40歳代	0.4%	TikTok(1件)／メール(1件)／広報紙など(1件)／親戚・知人・友人など身の回りの人から(1件)
50歳代	0.5%	ネットニュース(1件)／TikTok(1件)／メール(1件)／ショートメール(1件)／その他(1件)
60歳代	0.9%	Yahoo!ニュース(2件)／メール(2件)／Zoom(1件)
70歳以上	1.4%	情報サイトなど(2件)／Yahoo!ニュース(1件)／その他(2件)

●よく使うSNSとしては、年齢層が高くなるほど「LINE」と回答した人の割合が多くなっています。一方で、「Twitter」や「Instagram」と回答した人の割合は若い世代ほど多くなっています。

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)



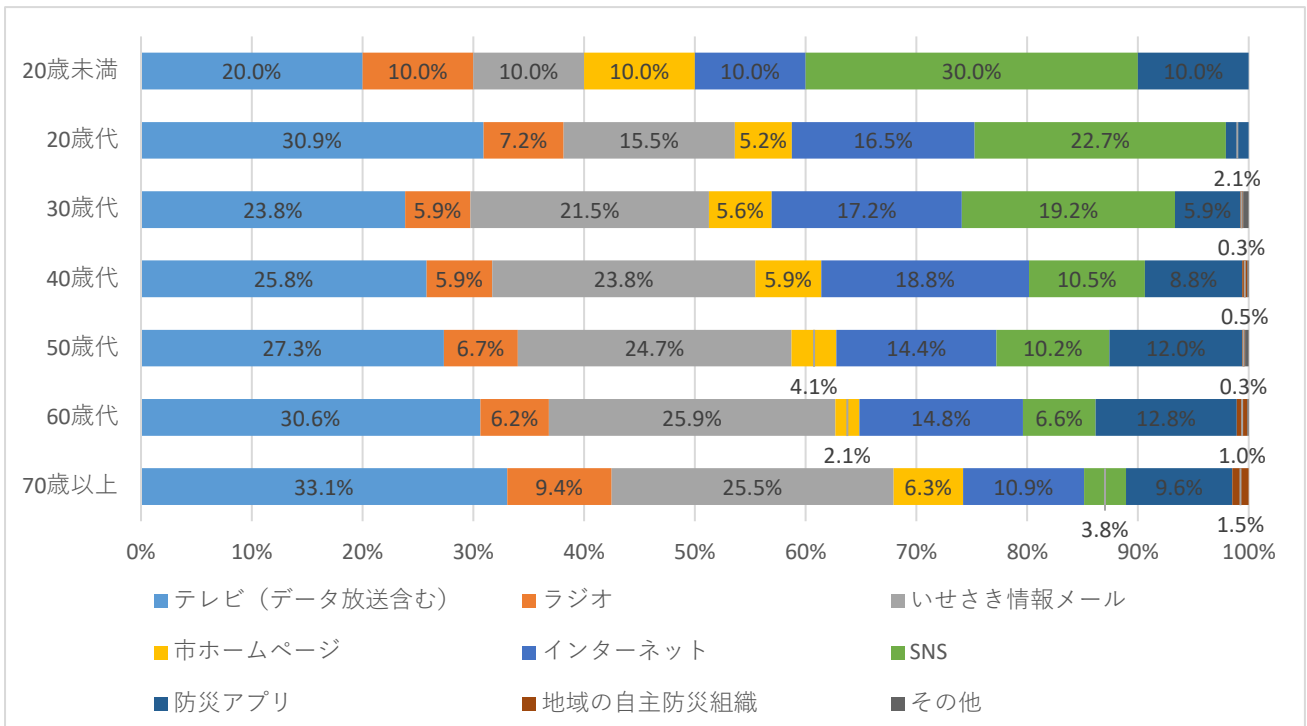
未回答 6 件 (30 歳代～50 歳代：各 2 件)

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	0.0%	
30 歳代	1.4%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(3 件)／回覧板(1 件)／市のメール(1 件)
40 歳代	1.1%	マチイロ(2 件)／親戚・知人・友人など身の回りの人から(1 件)／Instagram(1 件)／LINE(1 件)／市のメール登録(1 件)／市民団体の Facebook(1 件)／専門家の相談(1 件)／その他(1 件)
50 歳代	0.7%	親戚・知人・友人など身の回りの人から(2 件)／Instagram(1 件)／Facebook (1 件)／回覧板(1 件)／上毛新聞 web(1 件)／市民団体のサイト(1 件)／市の情報は回ってこない(1 件)
60 歳代	0.3%	マチイロ(1 件)／SNS での関係者の投稿(1 件)
70 歳以上	0.6%	公民館だより(2 件)／公民館のポスターやチラシ(1 件)／その他(2 件)

- 市からの情報の入手手段では、いずれの世代でも「広報いせさき」「いせさき情報メール」と回答した人の割合が多くなっています。
- 「市ホームページ」や「SNS」と回答した人の割合は、若い世代ほど多くなっています。

Q6 災害時の情報を主に何から入手していますか（複数回答可）



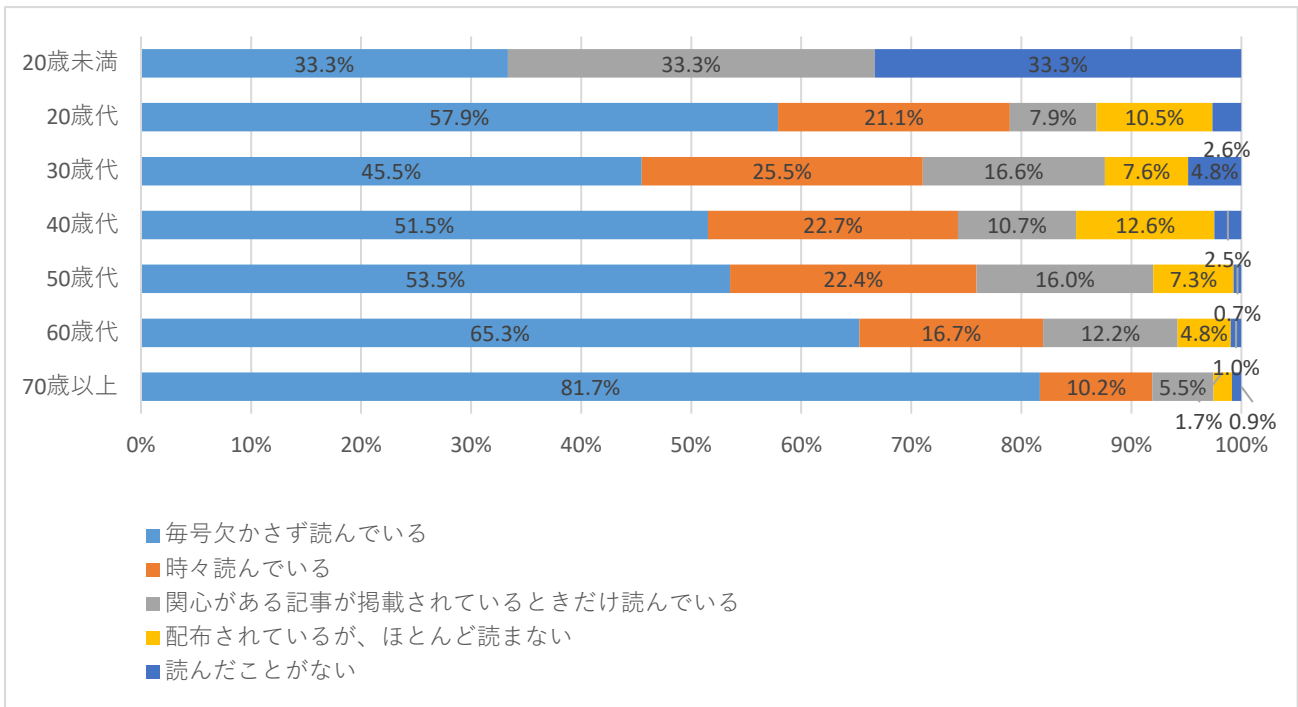
未回答 7 件（30 歳代：2 件、70 歳以上 5 件）

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	0.0%	
30 歳代	0.5%	メール(1 件)
40 歳代	0.1%	東電の停電情報など(1 件)
50 歳代	0.3%	防災行政無線(2 件)／親戚・知人・友人など身の回りの人から(1 件)／他の情報メール(1 件)
60 歳代	0.1%	ウェザーニュース (1 件)
70 歳以上	0.0%	

- 災害時の情報の入手手段としては、いずれの世代も「テレビ」「いせさき情報メール」と回答した人の割合が多くなっています。
- 「SNS」で災害時の情報を入手していると回答した人の割合は若い世代ほど多くなっています。

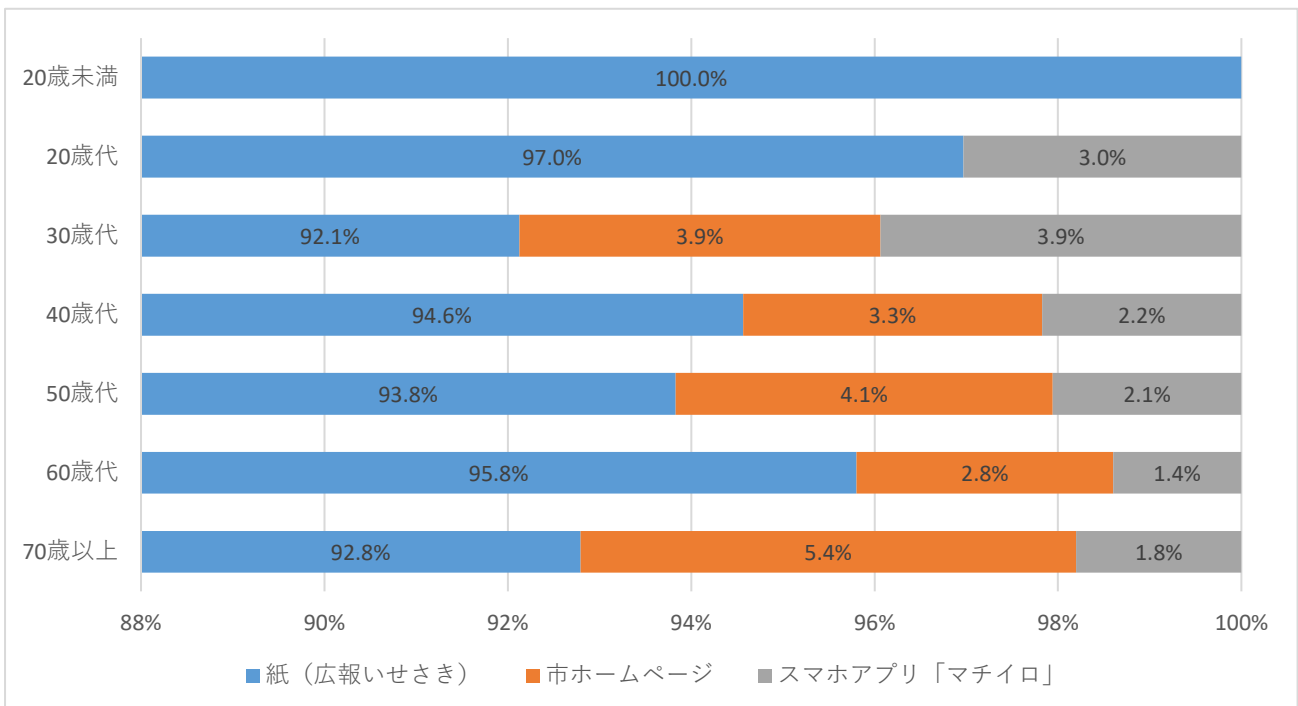
Q7-1 広報いせさきをどのくらい読んでいますか（紙やホームページなどで）



未回答 9 件（20 歳代～60 歳代：各 1 件、70 歳以上：5 件）

●広報いせさきを読んでいると回答した人の割合は年齢が高くなるほど多くなっています

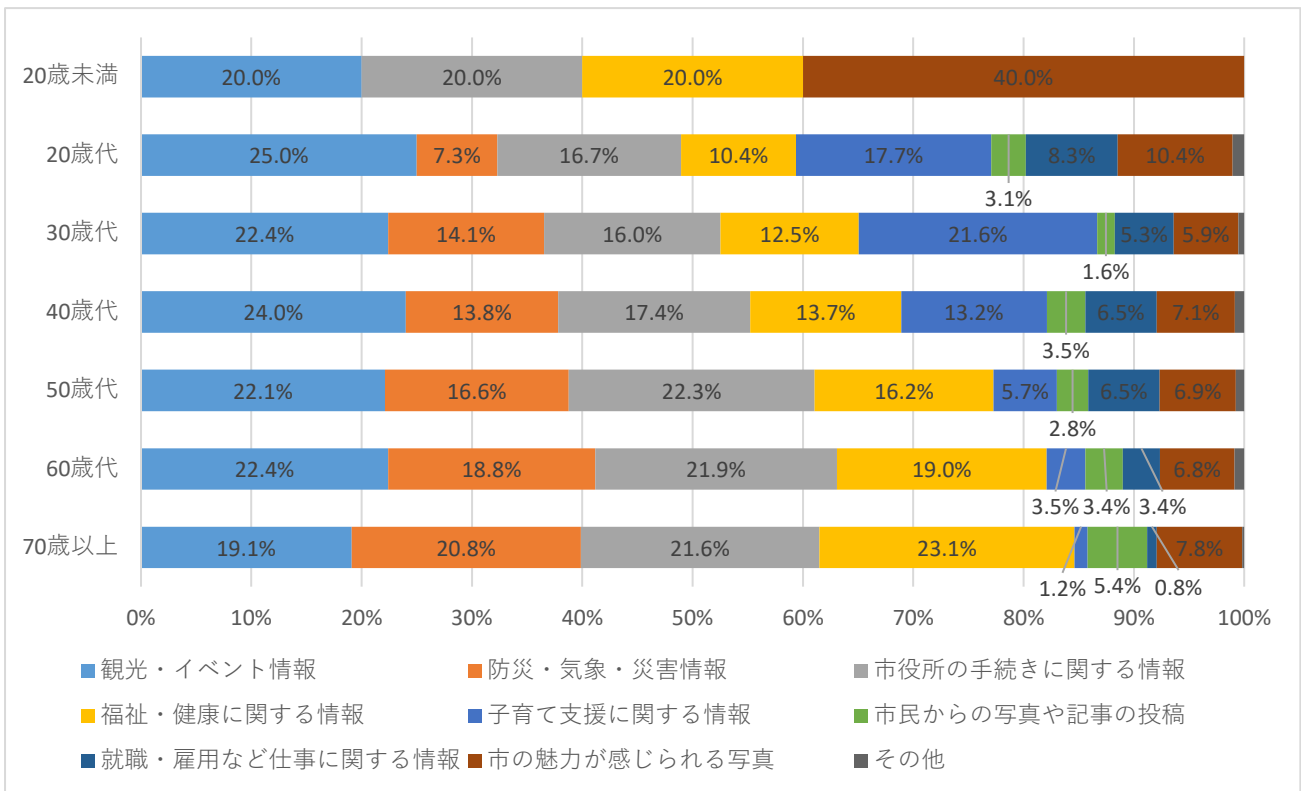
Q7-2 【1～3 を選んだ方】 広報いせさきを読むのに最も利用する媒体はどれですか



未回答 17 件（50 歳代：2 件、60 歳代：5 件、70 歳代：10 件）

●広報いせさきを読む際に利用する媒体については、すべての世代で「紙（広報いせさき）」がほとんどを占めています

Q7-3 【1~3を選んだ方】広報いせさきでどのような内容を充実してほしいですか（複数回答可）



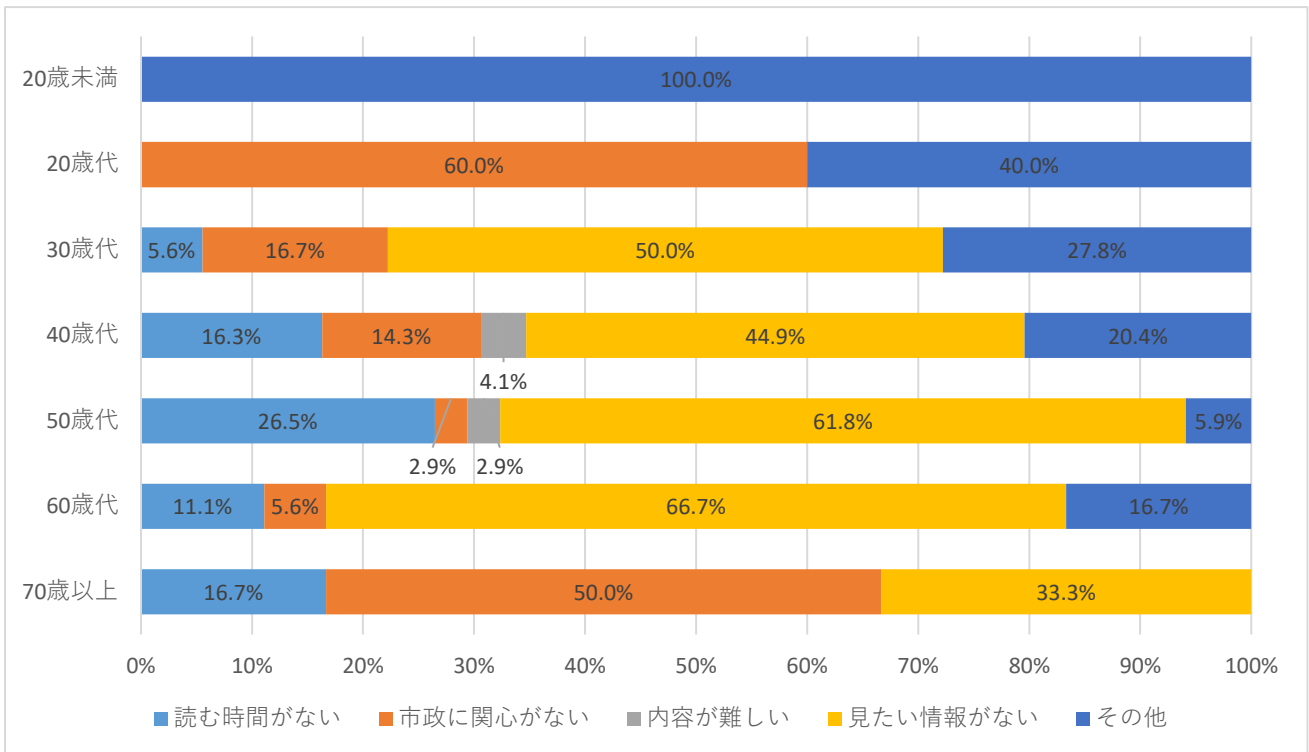
未回答 25 件（30 歳代：1 件、40 歳代：3 件、50 歳代：1 件、60 歳代：5 件、70 歳代：15 件）

【その他の割合】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	1.0%	前橋の広報紙みたいにスタイリッシュに(1 件)
30 歳代	0.5%	市の新しい事業(1 件)／市内の商業施設等休日過ごせる場所の紹介(1 件)
40 歳代	0.8%	PTA など活動への取材、交通弱者への情報、募集告知、税金や補助金の話、子どもの習い事の情報 など(計 7 件)
50 歳代	0.7%	市や町の歴史、バリアフリー施設などの情報、外国籍の人向けのごみの出し方、安全に関する情報 など(計 9 件)
60 歳代	0.9%	税金に関する情報、介護に関する情報、各種制度の紹介、犬の散歩マナー、ボランティア募集など(計 7 件)
70 歳以上	0.2%	財政情報・歴史文化的情報(1 件)

●広報いせさきで充実してほしい内容については、年齢が高くなるにつれて「防災・気象・災害情報」「福祉・健康に関する情報」と回答した人の割合が多くなっています。一方で「子育て支援に関する情報」と回答した人の割合は、30歳代で最も多くなっています。

Q7-4 【4・5を選んだ方】広報いせさきを読まない理由は何ですか

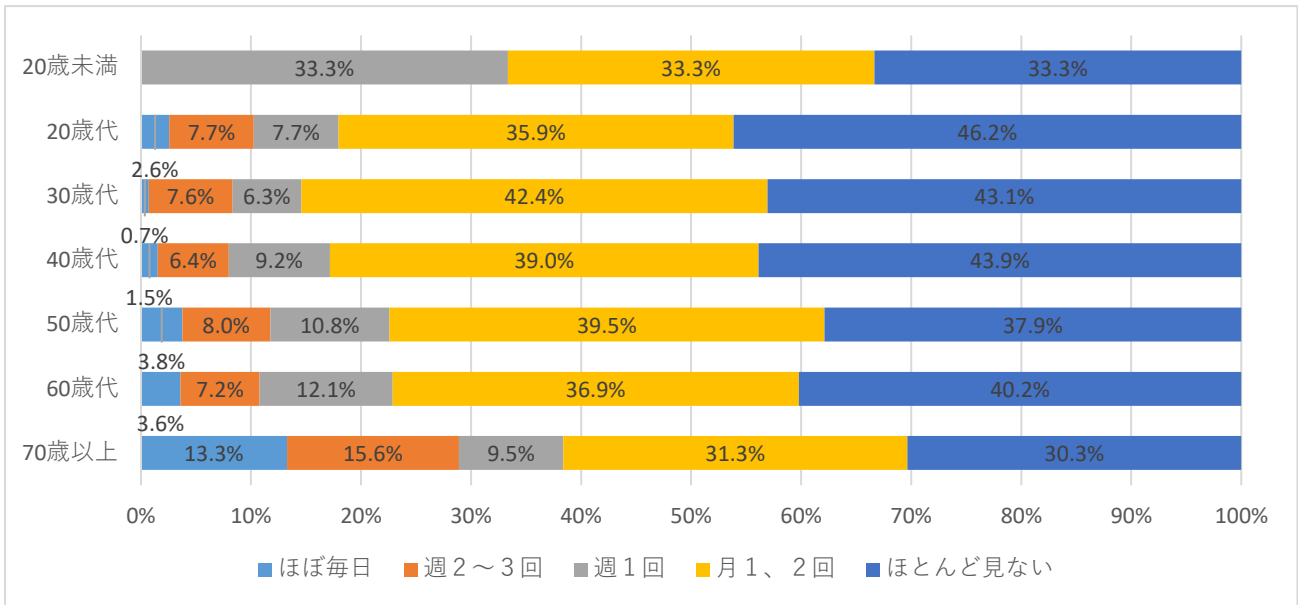


【その他の割合】

年齢	割合	内容
20歳未満	100.0%	配布されていない(1件)
20歳代	40.0%	配布されていない(1件)／知りたい情報はインターネットで取得している(1件)
30歳代	27.8%	配布されていない(2件)／知りたい情報はインターネットで取得している(2件)／同居親族が管理・処分している(1件)
40歳代	20.4%	配布されていない(5件)／面白くない(1件)／スマホの方が手軽(1件)／知りたい情報はインターネットで取得している(1件)／丸まって配布されて読みにくい(1件)／ネットなら読みたい(1件)
50歳代	5.9%	配布されていない(1件)／同居親族が管理・処分している(1件)
60歳代	16.7%	配布されていない(1件)／文字が小さくて読みにくい(1件)／読むのが面倒(1件)
70歳以上	0.0%	

●広報いせさきを読まない理由としては、30歳代から60歳代では「見たい情報がない」と回答した人の割合が多く、20歳代、70歳以上では「市政に関心がない」と回答した人の割合が多くなっています。

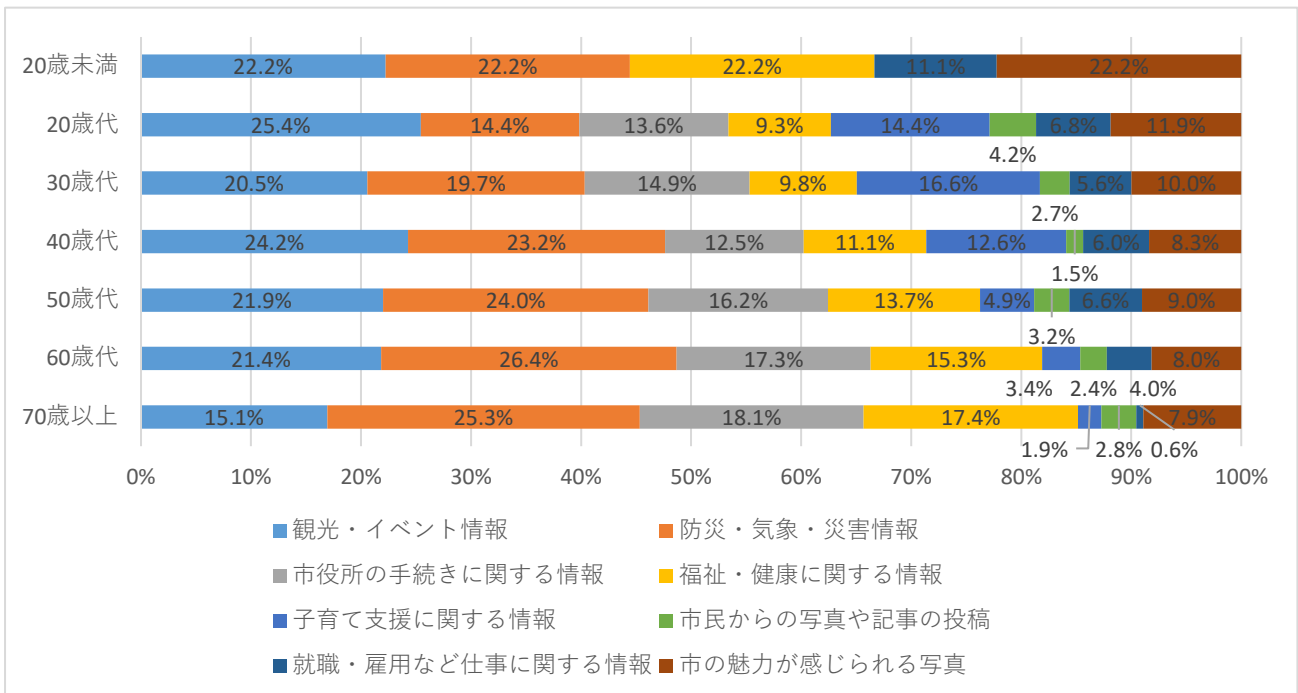
Q8 市ホームページをどのくらいの頻度で利用しますか



未回答 42 件 (30 歳代 : 2 件、40 歳代 : 1 件、50 歳代 : 1 件、60 歳代 : 6 件、70 歳以上 : 32 件)

●市ホームページの利用頻度はいずれの世代も「月1、2回」「ほとんど見ない」と回答した人の割合が多くなっています。

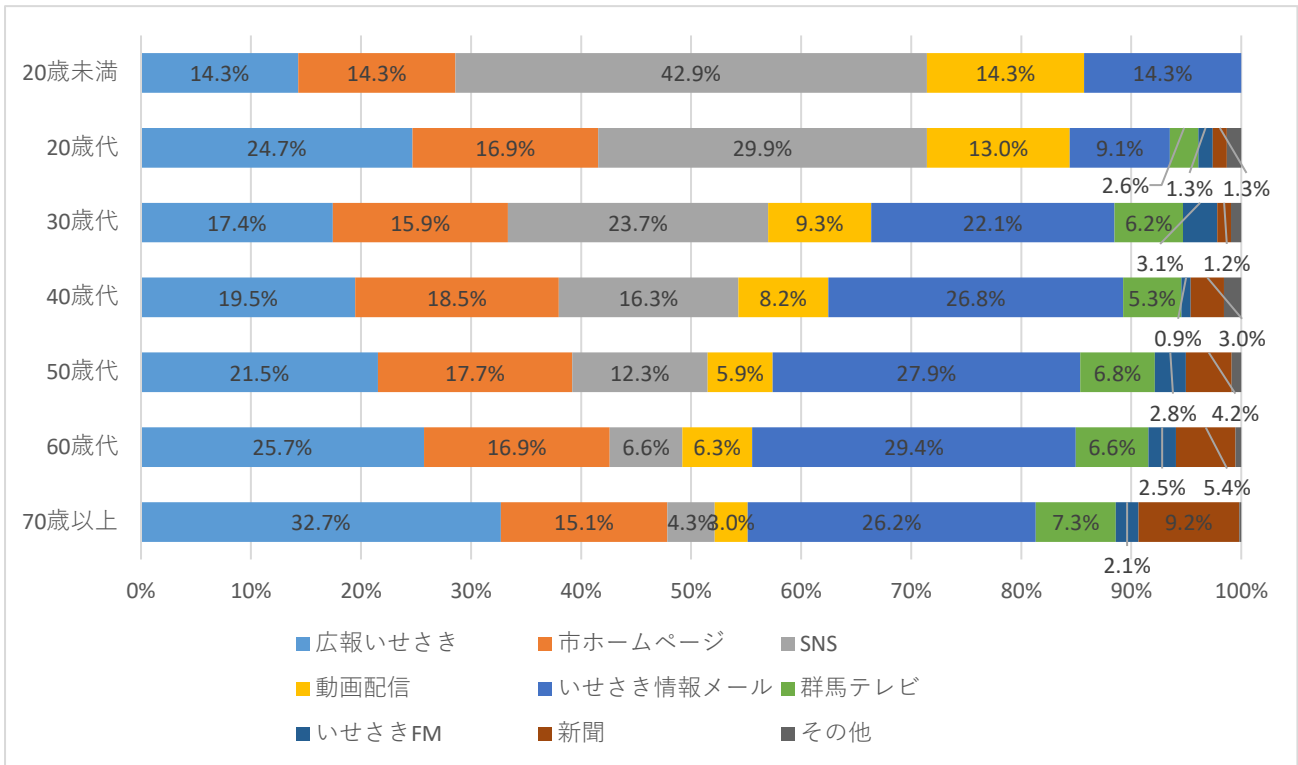
Q9 SNSでどのような市政情報を発信してほしいですか (複数回答可)



未回答 88 件 (30 歳代 : 1 件、40 歳代 : 5 件、50 歳代 : 8 件、60 歳代 : 16 件、70 歳以上 : 58 件)

●SNSで発信してほしい情報については、年齢が高くなるにつれて「防災・気象・災害情報」「福祉・健康に関する情報」と回答した人の割合が多くなっています。一方で「子育て支援に関する情報」と回答した人の割合は、30歳代で最も多くなっています。

Q10 今後、特に力を入れて発信してほしい、市政の情報発信手段はどれですか（あてはまるものをすべて）



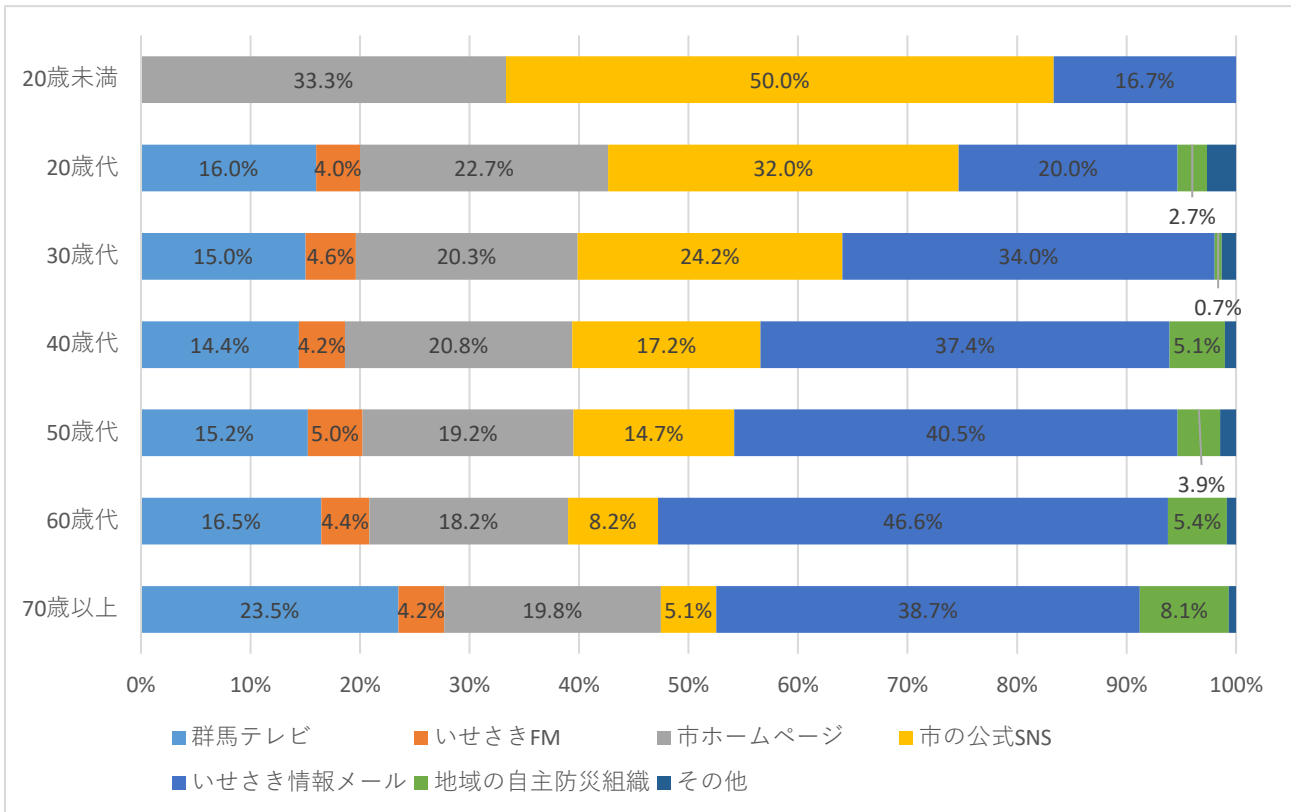
未回答 38 件（30 歳代：1 件、40 歳代：5 件、50 歳代：4 件、60 歳代 5 件、70 歳以上：23 件）

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	1.3%	LINE(1 件)
30 歳代	0.9%	LINE(2 件)／Instagram(1 件)
40 歳代	1.6%	LINE、Instagram、TikTok 等(計 11 件)
50 歳代	0.9%	LINE、群馬テレビ、FM 群馬、防災行政無線の再整備等(計 9 件)
60 歳代	0.5%	データ放送等(計 4 件)
70 歳以上	0.2%	紙媒体を月一回に(1 件)

●今後、力を入れてほしい情報発信手段については、年齢層が高くなるにつれて「広報いせさき」「いせさき情報メール」と回答した人の割合が多くなる傾向がありました。一方で、「SNS」や「動画配信」と回答した人の割合は若い世代ほど多くなっています。

Q11 地域に密着した災害時の情報を入手する場合、今後あなたが利用したい手段は何ですか（あてはまるものをすべて）



未回答 37 件（30 歳代：4 件、40 歳代：2 件、50 歳代：4 件、60 歳代 3 件、70 歳以上：24 件）

【その他の割合と内容】

年齢	割合	内容
20 歳未満	0.0%	
20 歳代	2.7%	LINE(1 件)／アプリ(1 件)
30 歳代	1.3%	YouTube(1 件)／Instagram(1 件)／伊勢崎市防災情報電話(1 件)
40 歳代	1.0%	LINE (4 件)／FM 群馬(1 件)／現状通りで良い(1 件)／市長のツイッターなど新しい企画(1 件)
50 歳代	1.4%	LINE、防災行政無線など(計 13 件)
60 歳代	0.8%	LINE、県や国の防災情報など(計 5 件)
70 歳以上	0.7%	防災アプリなど(3 件)

●災害時に利用したい情報入手手段としては、年齢層が高くなるにつれて「いせさき情報メール」と回答した人の割合が多くなる傾向がありました。一方で、「市の公式SNS」と回答した人の割合は若い世代ほど多くなっています。

市の情報発信に関するアンケート

クロス集計結果

- 関連する質問の結果を掛け合わせた値を算出
- 複数選択式の質問において、回答結果の組み合わせた値を算出

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)

Q10 今後、特に力を入れて発信してほしい、市政の情報発信手段はどれですか（あてはまるものをすべて）

※パーセンテージはQ5のそれぞれの回答数を元の値として算出しています

※カラスケールはQ5をベースにしています

Q10 Q5	広報いせさき	市ホームページ	SNS	動画配信	いせさき情報メール	群馬テレビ	いせさきFM	新聞	その他
広報いせさき (1,220件)	749 (61.4%)	494 (40.5%)	306 (25.1%)	176 (14.4%)	750 (61.5%)	189 (15.5%)	66 (5.4%)	144 (11.8%)	16 (1.3%)
ホームページ (510件)	254 (49.8%)	336 (65.9%)	165 (32.4%)	88 (17.3%)	303 (59.4%)	68 (13.3%)	33 (6.5%)	55 (10.8%)	10 (2.0%)
ツイッター (115件)	30 (26.1%)	45 (39.1%)	96 (83.5%)	30 (26.1%)	61 (53.0%)	15 (13.0%)	5 (4.3%)	8 (7.0%)	3 (2.6%)
フェイスブック (41件)	18 (43.9%)	15 (36.6%)	31 (75.6%)	8 (19.5%)	23 (56.1%)	8 (19.5%)	4 (9.8%)	5 (12.2%)	0 (0.0%)
いせさき情報メール (1,089件)	600 (55.1%)	460 (42.2%)	291 (26.7%)	171 (15.7%)	805 (73.9%)	158 (14.5%)	55 (5.1%)	112 (10.3%)	20 (1.8%)
チラシやポスター (175件)	123 (70.3%)	69 (39.4%)	41 (23.4%)	30 (17.1%)	117 (66.9%)	40 (22.9%)	10 (5.7%)	35 (20.0%)	4 (2.3%)
新聞 (224件)	160 (71.4%)	93 (41.5%)	45 (20.1%)	28 (12.5%)	147 (65.6%)	61 (27.2%)	19 (8.5%)	82 (36.6%)	4 (1.8%)
群馬テレビ (156件)	100 (64.1%)	62 (39.7%)	42 (26.9%)	26 (16.7%)	90 (57.7%)	93 (59.6%)	18 (11.5%)	31 (19.9%)	2 (1.3%)
いせさきFM (39件)	21 (53.8%)	19 (48.7%)	14 (35.9%)	5 (12.8%)	25 (64.1%)	12 (30.8%)	23 (59.0%)	6 (15.4%)	0 (0.0%)
インターネット (260件)	114 (43.8%)	137 (52.7%)	95 (36.5%)	67 (25.8%)	158 (60.8%)	46 (17.7%)	14 (5.4%)	28 (10.8%)	4 (1.5%)
その他 (28件)	10 (35.7%)	9 (32.1%)	13 (46.4%)	6 (21.4%)	12 (42.9%)	5 (17.9%)	1 (3.6%)	3 (10.7%)	1 (3.6%)

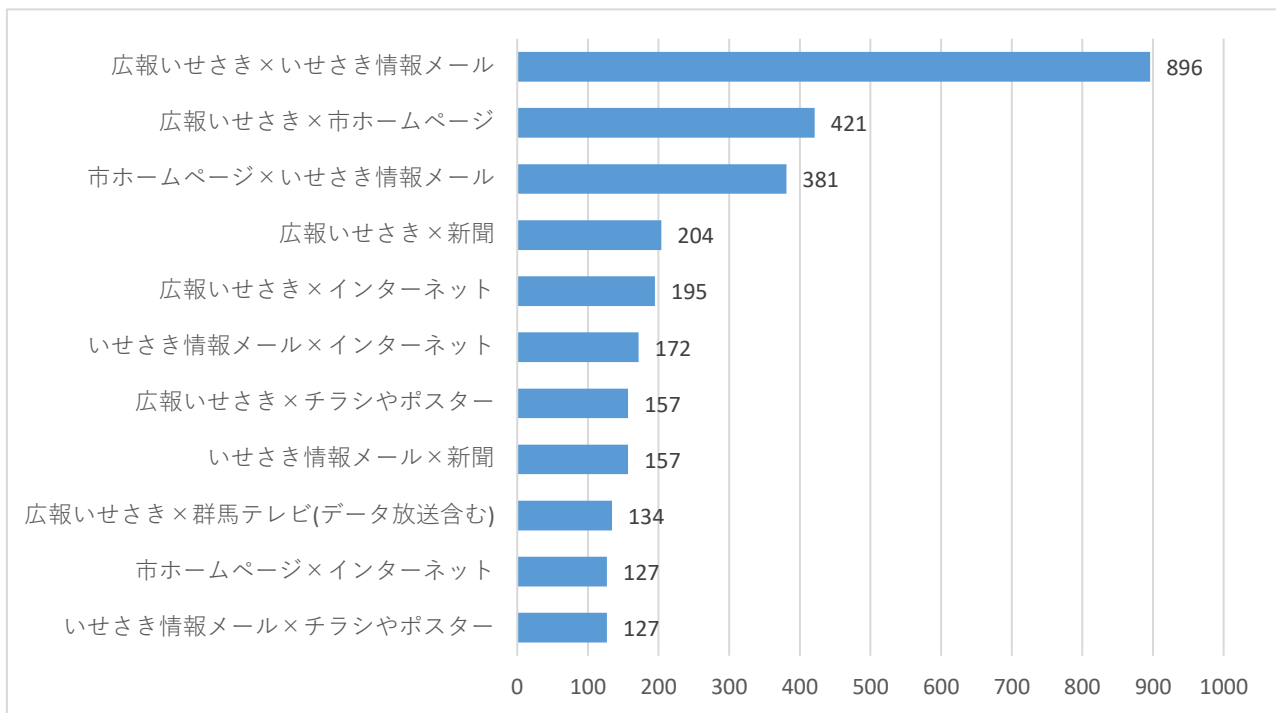
●Q5のいずれの回答項目においても、今後力を入れてほしい情報発信手段としては「いせさき情報メール」が高い値となっており、次いで「広報いせさき」が高くなっています。

●市からの情報の入手手段として「市ホームページ」「市ツイッター」「市フェイスブック」を選択した人は、今後力を入れてほしい情報発信の手段においても、それぞれ同様の選択肢が最も高い値となっています。

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)

【市からの情報の入手手段の組み合わせ】

順位	市からの情報の入手手段の組み合わせ		件数
1	広報いせさき	× いせさき情報メール	896
2	広報いせさき	× 市ホームページ	421
3	市ホームページ	× いせさき情報メール	381
4	広報いせさき	× 新聞	204
5	広報いせさき	× インターネット	195
6	いせさき情報メール	× インターネット	172
7	広報いせさき	× チラシやポスター	157
7	いせさき情報メール	× 新聞	157
9	広報いせさき	× 群馬テレビ(データ放送含む)	134
10	市ホームページ	× インターネット	127
10	いせさき情報メール	× チラシやポスター	127



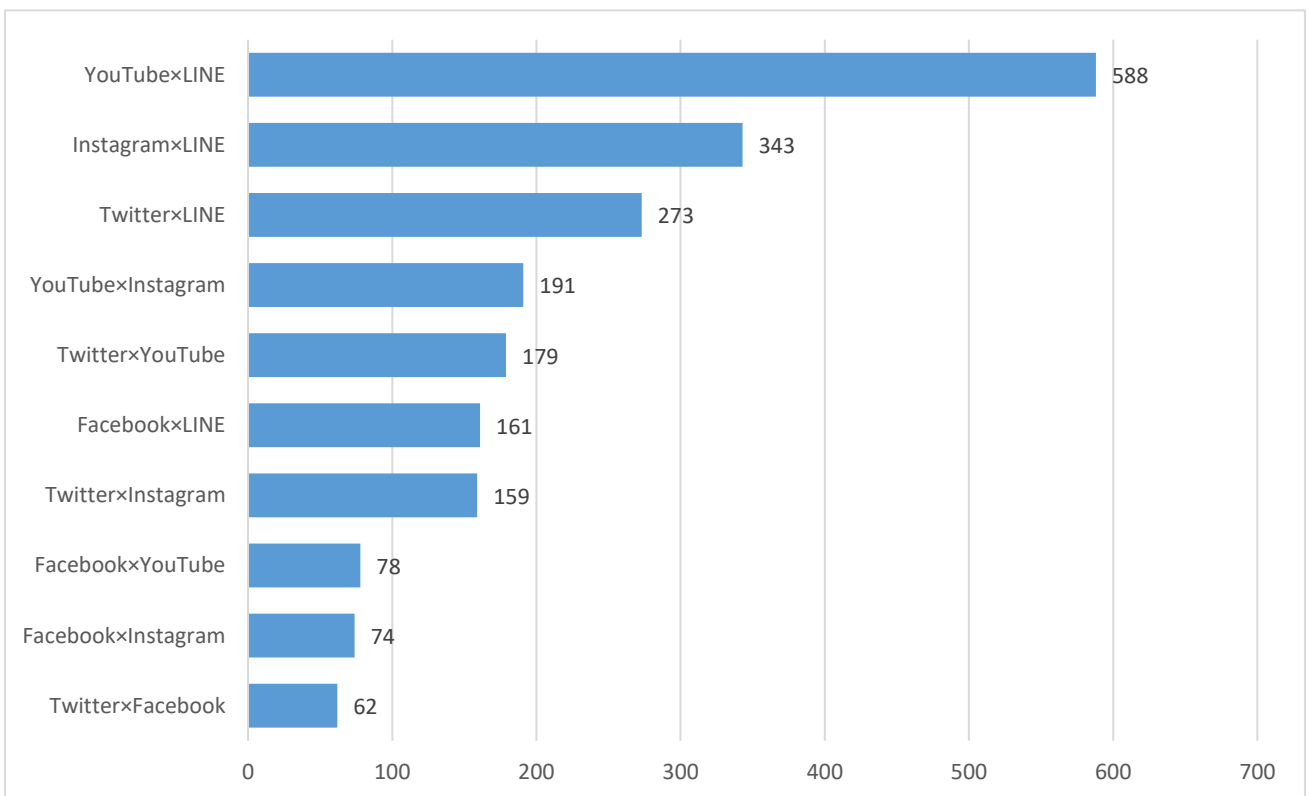
- 市からの情報の入手手段の組み合わせとして最も高い値となったのは、「広報いせさき」と「いせさき情報メール」でした。
- 「広報いせさき」と「いせさき情報メール」それぞれに対する組み合わせとして多かったのは、「市ホームページ」でした。

SNS

Q4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください（3つまで）

【利用しているSNSの組み合わせ】

順位	SNSの組み合わせ			件数
1	YouTube	×	LINE	588
2	Instagram	×	LINE	343
3	Twitter	×	LINE	273
4	YouTube	×	Instagram	191
5	Twitter	×	YouTube	179
6	Facebook	×	LINE	161
7	Twitter	×	Instagram	159
8	Facebook	×	YouTube	78
9	Facebook	×	Instagram	74
10	Twitter	×	Facebook	62



●利用しているSNSとして最も回答が多かったラインが上位3位に入っています。ラインに対する組み合わせとしては、YouTube、Instagram、Twitterが上位となりました。

Q4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください(3つまで)

Q5 伊勢崎市からの情報(制度や施策、市のイベントや施設の利用など)や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)

Q4 \ Q5	市ツイッター (115件)	市フェイスブック (41件)
Twitter(385件)	100	13
Facebook(208件)	23	31

●よく利用しているSNSとしてツイッターを選択した人(385人)のうち、市からの情報をツイッターで入手していると答えた人は、100人(26.0%)でした。

●よく利用しているSNSとしてフェイスブックを選択した人(208人)のうち、市からの情報をフェイスブックで入手していると答えた人は、31人(14.9%)でした。

Q4 あなたが現在よく利用しているSNSを選んでください(3つまで)

Q9 SNSでどのような市政情報を発信してほしいですか(複数回答可)

※パーセンテージはQ4のそれぞれの回答数を元の値として算出しています

※カラースケールはQ4をベースにしています

Q4 \ Q9	観光・イベント	防災・気象・災害	市役所の手続き	福祉・健康	子育て支援	市民からの写真や記事	就職・雇用	魅力が感じられる写真
Twitter (385件)	271 (70.4%)	283 (73.5%)	179 (46.5%)	132 (34.3%)	98 (25.5%)	30 (7.8%)	70 (18.2%)	116 (30.1%)
Facebook (208件)	158 (76.0%)	158 (76.0%)	90 (43.3%)	93 (44.7%)	49 (23.6%)	27 (13.0%)	47 (22.6%)	61 (29.3%)
YouTube (714件)	476 (66.7%)	491 (68.8%)	326 (45.7%)	270 (37.8%)	162 (22.7%)	50 (7.0%)	115 (16.1%)	208 (29.1%)
Instagram (429件)	313 (73.0%)	295 (68.8%)	208 (48.5%)	170 (39.6%)	131 (30.5%)	49 (11.4%)	85 (19.8%)	138 (32.2%)
LINE (1,196件)	762 (63.7%)	847 (70.8%)	546 (45.7%)	494 (41.3%)	283 (23.7%)	90 (7.5%)	185 (15.5%)	312 (26.1%)

●いずれのSNSでも「観光・イベント情報」、「防災・気象・災害情報」の発信を望む声が多い結果となっています。

●「観光・イベント情報」と「防災・気象・災害情報」の比較では、Instagramを除く全てのSNSで「防災・気象・災害情報」が高い値となっています(Facebookでは同値)。

●Instagramでは「観光・イベント情報」が「防災・気象・災害情報」を上回っており、また「市の魅力が感じられる写真」などでも他のSNSと比較し最も高い値となっています。

Q5 伊勢崎市からの情報（制度や施策、市のイベントや施設の利用など）や地域の情報を何から入手していますか(複数回答可)

Q9 SNSでどのような市政情報を発信してほしいですか（複数回答可）

※パーセンテージはQ4のそれぞれの回答数を元の値として算出しています

※カラースケールはQ5をベースにしています

Q9 Q5	観光・イベント	防災・気象・災害	市役所の手続き	福祉・健康	子育て支援	市民からの写真や記事	就職・雇用	魅力が感じられる写真
ツイッター (385件)	86 (74.8%)	88 (76.5%)	46 (40.0%)	33 (28.7%)	34 (29.6%)	8 (7.0%)	19 (16.5%)	42 (36.5%)
フェイスブック (208件)	32 (78.0%)	30 (73.2%)	17 (41.5%)	14 (34.1%)	7 (17.1%)	5 (12.2%)	7 (17.1%)	13 (31.7%)

- 市からの情報を「市ツイッター」及び「市フェイスブック」から入手していると回答した人がSNSで発信してほしい情報は、いずれも「観光・イベント情報」と「防災・気象・災害情報」が高い値となっています。
- 割合で比較すると、「市ツイッター」と「市フェイスブック」で差が大きく現れたのは「子育て支援情報」でした。